

令和7年度

業 務 概 要

公益財団法人 山形県生涯学習文化財団

目 次

I 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

1 概 要	1
2 令和7年度基本方針	6
3 令和7年度事業体系図	7
4 令和7年度収支予算	9
5 令和6年度決算	14

II 総務・管理部門（山形県生涯学習センター及び同分館「洗心庵」）

1 概 要	27
2 令和7年度事業計画	28
3 令和6年度事業実績	30
4 各部門における施設の利用状況	34
5 生涯学習センター等建設経緯及び施設の概要	37

III 生涯学習部門（山形県生涯学習センター）

1 概 要	41
2 令和7年度事業計画	42
3 令和6年度事業実績	45

IV 文化振興部門（山形県郷土館「文翔館」及び山形県総合文化芸術館）

1 概 要	51
2 令和7年度事業計画	53
3 令和6年度事業実績	55
4 郷土館建設経緯及び施設の概要	62

V 男女共同参画部門（山形県男女共同参画センター「チェリア」）

1 概 要	67
2 令和7年度事業計画	68
3 令和6年度事業実績	71

I 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

I 公益財団法人山形県生涯学習文化財団

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023)625-6411

F A X (023)625-6415

1 概 要

(1) 目 的

県民の自発的な生涯学習及び文化活動並びに男女共同参画社会の形成促進を総合的に支援し、これらの活動を基盤とした生涯設計、社会生活の創造、地域文化の振興を図るとともに、地域社会の活性化を担う人材の育成に資することを目的とする。

(2) 事 業

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 生涯学習及び文化の振興並びに男女共同参画社会の形成に係る調査、研究、支援及び啓発等に関する事業
- ② 先導的な生涯学習の講座及び研修会の開催並びに文化鑑賞の機会の充実に係る事業
- ③ 地域、企業等の生涯学習及び文化活動の指導者の育成、交流等に関する事業
- ④ 男女共同参画社会づくりを目的とした団体・グループの支援・交流・相談への対応、情報収集・提供等に関する事業
- ⑤ 地域の活性化を担う人材の育成に関する事業
- ⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(3) 役 員

- ・ 理 事 長 1 名
- ・ 専 務 理 事 1 名
- ・ 常 務 理 事 1 名
- ・ 評 議 員 15 名
- ・ 理 事 8 名 （理事長・専務理事・常務理事を含む）
- ・ 監 事 2 名

(4) 特 定 資 産（生涯学習文化事業資産）

2,665,361,843 円 （令和7年4月1日現在）

公益財団法人山形県生涯学習文化財団評議員・理事・監事名簿（順不同）

令和7年6月27日現在

<評議員> 15名（定数10名～15名）

役員名称	氏 名	役 職 名
評 議 員	玉 手 英 利	山形大学学長
評 議 員	小 関 博	山形県教育委員会委員
評 議 員	鈴 木 義 孝	山形県芸術文化協会会長
評 議 員	藤 間 乾	公益社団法人日本舞踊協会山形県支部長
評 議 員	矢 野 秀 弥	山形県商工会議所連合会会長
評 議 員	大 泉 定 幸	山形県商工会連合会専務理事
評 議 員	大 武 義 孝	山形県農業協同組合中央会常務理事
評 議 員	齋 藤 直 樹	山形県市長会事務局長
評 議 員	長谷川 吉之介	山形県PTA連合会会長
評 議 員	渡 邊 晃	山形県高等学校長会会長
評 議 員	渡 邊 洋 一	山形県私立短期大学協会会長
評 議 員	石 沢 恵 理	東北芸術工科大学准教授
評 議 員	村 山 恵美子	桜桃の会代表
評 議 員	舟 山 和 彦	山形県博物館連絡協議会会長
評 議 員	中 村 雪 子	山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課長

（任期：令和7年度定時評議員会の終結の時～令和10年度定時評議員会の終結の時）

<理事> 8名（定数7名～10名）

役員名称	氏 名	役 職 名
理 事 長	若 松 正 俊	公益財団法人山形県生涯学習文化財団理事長
理 事	佐 藤 秀 之	株式会社山形新聞社代表取締役社長
理 事	鈴 木 隆 一	山形経済同友会代表幹事
理 事	九 里 廣 志	公益社団法人山形県私立学校総連合会会長
理 事	東 山 昭 子	鶴岡総合研究所研究顧問
理 事	高 木 直	山形大学名誉教授
専務理事	杉 澤 栄 一	公益財団法人山形県生涯学習文化財団専務理事
常務理事	遠 藤 隆 弘	公益財団法人山形県生涯学習文化財団常務理事

（任期：令和7年度定時評議員会の終結の時～令和8年度定時評議員会の終結の時）

<監事> 2名（定数2名）

役員名称	氏 名	役 職 名
監 事	柴 田 健 一	公認会計士・税理士
監 事	菅 原 靖 男	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事

（任期：令和7年度定時評議員会の終結の時～令和8年度定時評議員会の終結の時）

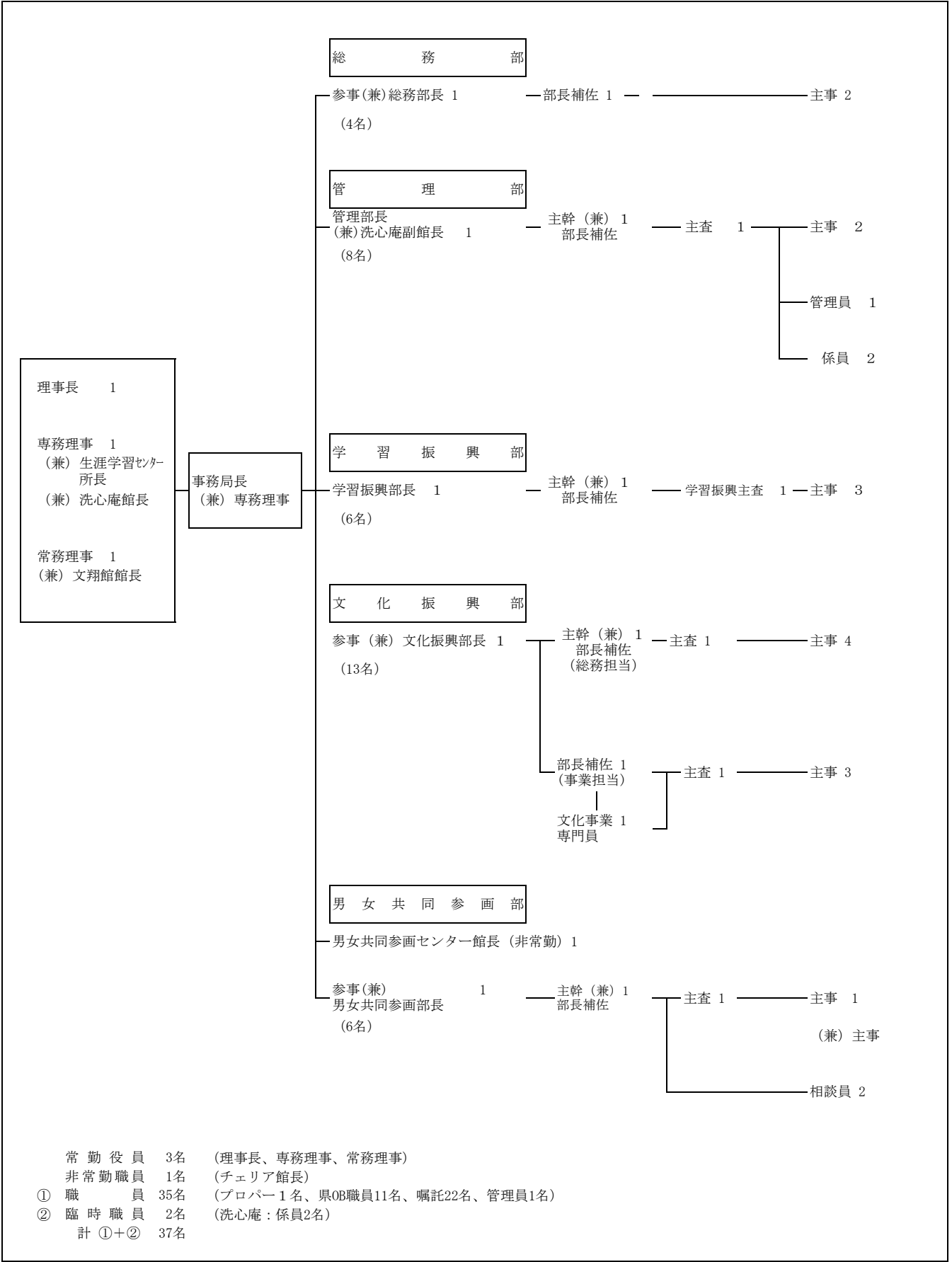
沿 革

生涯学習センター（遊学館）		文翔館（県郷土館）、総合文化芸術館		男女共同参画センター（チェリア）	
		T5. 6 S51. 6	旧県庁舎及び県会議事堂竣工 県庁跡地利用懇談会で山形県歴史資料館（仮称）の設置を決定		
S56. 7. 30	山形県生涯教育懇話会提言 （山形県における生涯教育の進め方について）			S55. 1	知事の諮問機関の県婦人問題推進懇話会が提言（婦人情報センター等の設置）
S57. 12. 20	山形県生涯教育基本構想答申				
S58. 12. 12	県生涯教育センター基本構想策定委員会設置	S59. 12	旧県庁舎及び県会議事堂が国の重要文化財に指定される		
S60. 5. 29	山形県生涯教育センター基本構想（答申）				
S60. 7	生涯教育センター建設計画検討委員会設置（会長：副知事）				
S61. 1	生涯教育センター建設計画検討委員会（報告）				
S61. 5	生涯教育センター・県立図書館建設委員会設置	S61. 7	旧県会議事堂半解体調査開始		
S62. 3	建設委員会（基本設計の最終検討）			S62. 1	同懇話会が婦人問題総合研究所（仮称）構想を提言
S62. 3. 25	基本設計の完成				
S62. 9. 30	実施設計完了				
S62. 12. 7	生涯教育センター（仮称）の請負契約（建設） 建設施設整備総事業費約 62 億円				
S63. 1. 30	生涯教育センター（仮称）起工式	S63. 2	旧県庁舎半解体調査開始	S63. 3	新やまがた女性プランの基本施策に掲げられる
H 元. 5. 18	上棟式				
H2. 2. 1	生涯教育センター（仮称）完成引渡				
H2. 2. 21	財団法人山形県生涯学習人材育成機構が設立				
H2. 7. 27	生涯学習センター（仮称）竣工式典 山形県生涯学習センター設置条例を施行し業務開始				
H2. 7. 28	財団法人山形県生涯学習人材育成機構が管理を受託				
H2. 8	学遊大学講座等主催講座開始	H2. 9	旧県会議事堂の修理工事完成		
H4. 12. 19	遊学館の入館者 100 万人	H5. 9	山形県郷土館（仮称）展示基本設計		
		H6. 2	山形県郷土館（仮称）展示実施設計		
		H6. 6	山形県郷土館展示委員会の設置		
H7.	放送大学山形学習センター2 階研修室の一部を使用（～H12 年）	H7. 7	山形県郷土館条例公布	H7. 3	「新やまがた女性プラン（第一次改定）」に「女性総合センター（仮称）の整備促進」が基本施策に掲げられる
		H7. 9	山形県郷土館の愛称を「文翔館」に決定。旧県庁舎及び県会議事堂修理工事、展示工事完成		
		H7. 10	山形県郷土館「文翔館」開館（財）山形県生涯学習人材育成機構が管理を受託	H7. 3	山形県女性総合センター（仮称）構想検討委員会が整備に向けた基本方向、機能、管理運営等を報告
H7. 11. 1	遊学館の来館者 200 万人			H11. 2	女性団体代表者等で構成する「女性交流プラザ（仮称）基本計画策定懇談会」が基本計画をまとめる
H11. 1	遊学館の来館者 300 万人				
H12. 4. 1	財団法人山形県生涯学習文化財団に改称	H12. 4. 1	財団法人山形県生涯学習文化財団に改称		
H13. 9. 29	遊学館の来館者 400 万人	H13. 12	文翔館の来館者 100 万人	H13. 4. 1	山形県男女共同参画センター条例を施行し業務開始。財団法人山形県生涯学習文化財団が管理を受託

生涯学習センター（遊学館）		文翔館（県郷土館）、総合文化芸術館	男女共同参画センター（チェリア）
H16. 4. 1	（財）山形県長寿社会推進機構の学習分野を承継		
H16. 12. 22	遊学館の来館者 500 万人		
H18. 4. 1	指定管理者制度導入により財団法人山形県生涯学習文化財団が指定管理者の指定を受ける（１期目、H18～20 年度）	H18. 4. 1 指定管理者制度導入により財団法人山形県生涯学習文化財団が指定管理者の指定を受ける（１期目、H18～20 年度）	H18. 4. 1 指定管理者制度導入により財団法人山形県生涯学習文化財団が指定管理者の指定を受ける（１期目、H18～20 年度）
H21. 4. 1	２期目の指定管理者の指定を受ける（H21～23 年度）	H20. 12 文翔館の来館者 200 万人	
H21. 12. 20	遊学館の来館者 600 万人	H21. 4. 1 ２期目の指定管理者の指定を受ける（H21～23 年度）	H21. 4. 1 ２期目の指定管理者の指定を受ける（H21～23 年度）
H24. 4. 1	公益財団法人に移行 ３期目の指定管理者の指定を受ける（H24～26 年度）	H24. 4. 1 公益財団法人に移行 ３期目の指定管理者の指定を受ける（H24～28 年度）	H24. 4. 1 公益財団法人に移行 ３期目の指定管理者の指定を受ける（H24～26 年度）
H24. 11. 6	遊学館の来館者 700 万人		
H25. 6. 4	山形県緑町庭園文化学習施設・生涯学習センター分館「洗心庵」の管理を受託		
H25. 7. 16	洗心庵開園		
H26. 4. 1	洗心庵の指定管理者の指定を受ける（H26 年度）		
H27. 4. 1	４期目の指定管理者（遊学館、洗心庵）の指定を受ける（H27～31 年度）	H27. 11. 18 文翔館来館者 300 万人	H27. 4. 1 ４期目の指定管理者の指定を受ける（H27～31 年度）
		H29. 4. 1 ４期目の指定管理者の指定を受ける（H29～R3 年度）	
H30. 9	H30 年 9 月～R 元年 9 月、県立図書館大規模改修工事	H31. 3. 5 県総合文化芸術館の指定管理者（３者による共同事業体）の指定を受ける（R1. 12. 1～R7. 3. 31）	
		R1. 12. 1 県総合文化芸術館プレオープン	
R2. 4. 1	５期目の指定管理者（遊学館、洗心庵）の指定を受ける（R2～R6 年度）	R2. 5. 13 県総合文化芸術館開館	R2. 4. 1 ５期目の指定管理者の指定を受ける（R2～R6 年度）
		R4. 4. 1 ５期目の指定管理者（文翔館）の指定を受ける（R4～R8 年度）	
		R5. 5. 28 文翔館来館者 400 万人	
R7. 4. 1	６期目の指定管理者（遊学館、洗心庵）の指定を受ける（R7～R11 年度）	R7. 4. 1 ２期目の県総合文化芸術館の指定管理者（３者による共同事業体）の指定を受ける（R7～R11 年度）	R7. 4. 1 ６期目の指定管理者の指定を受ける（R7～R11 年度）

令和7年度(公財)山形県生涯学習文化財団組織図

令和7年7月1日現在



2 令和7年度基本方針

これまでの経緯を踏まえながら、財団の目的達成に向け、自主事業については一層効果的、効率的な展開を図っていくとともに、財団事業の中で大きなウエイトを占める指定管理事業についてはその着実な遂行に努めていくこととし、次の項目について重点的に取り組んでいく。

- 1 生涯学習部門については第7次山形県教育振興計画（令和7年度から概ね10年間）に沿って、学習情報提供の充実を図りながら、人材育成として市町村生涯学習・社会教育関係職員研修や、地域づくりリーダー育成のための研修を実施する。また、山形を多様な切り口から学習・研究する「山形学」を推進するとともに、「やまがた地域創生事業」により、地域の生涯学習活動を効果的に支援する。
- 2 文化振興部門については、「山形県文化推進基本計画」（令和6年度～令和10年度、5か年）に沿って、文化芸術鑑賞機会の充実を進め文化芸術活動への参加を促進するとともに、引き続き県民の郷土への理解を深めるために文翔館収蔵品・企画展を実施する。また、令和7年度は開館30周年を迎えるため、記念事業を県と共催で開催する。さらに、地域での取り組みである街なか賑わいフェスティバルと連携するほか、県内の大学や団体等が主催するイベントを積極的に受け入れて中心市街地の賑わいづくりを促進し、来館者の増加を図る。
- 3 男女共同参画部門については、女性の活躍推進を支える女性リーダーの育成とそのネットワーク化や講師等としての派遣など人材育成事業を強化するとともに、男性の意識改革に向けた取り組みを実施する。また、県・市町村との連携を強化し、各団体・グループの基盤の充実及びネットワークの推進に取り組み、地域における身近な男女共同参画の促進に努める。新たに、県内事業所等に対し出前講座を活用した男女共同参画の意識啓発を仕掛けるとともに、次世代人材を育成する事業（ユースリーダー事業）に取り組んでいく。
- 4 指定管理事業については、引き続き、令和7年度から生涯学習センターの指定管理者となることが決定したが、ニーズの高いWeb会議等に対応したICTを活用し、利用しやすい環境づくりと県民サービスの向上、男女共同参画センター利用のPRを強化するとともに、図書館や公文書センター、大学コンソーシアム等と連携し、本県の生涯学習活動の拠点として「遊学館」のネームバリューを活かした施設の利用促進に繋げていく。

また、総合文化芸術館（やまぎん県民ホール）については、指定管理者みんぐるやまがたの代表団体として良好な管理運営に努めるとともに、文化団体等と連携を図りながら本県の文化活動の拠点として本県文化の発信と県民の利用促進に向け取り組んでいく。

3 令和7年度事業体系

生涯学習部門・管理部門（山形県生涯学習センター）

区分	柱立て	事業名	令和7年度 事業費① 人件費除き
【公1】 県民の生涯にわたる 学習活動の推進に関 する事業	1 学習情報・機会の提供	学習情報収集・提供事業	1,195
		長寿社会づくり推進事業	589
		「ふるさと塾」推進事業	1,170
		広報紙発行事業	531
		「山形学」推進事業	4,148
		山形県地域づくり実践交流集会	310
		生涯学習支援事業	4,203
	2 学習活動支援者の育成	生涯学習関係職員研修事業	317
		高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成 等事業	2,623
		シニア地域実践活動支援事業	471
	3 学習成果の活用	山形県地域づくり実践交流集会(再掲)	0
		高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成 等事業(再掲)	0
	4 県民生涯学習活動の場の 提供	遊学館施設管理運営事業	41,960
		洗心庵施設管理運営事業	7,070
		施設利用促進事業	653
	5 その他生涯学習推進に 関 する事業	生涯学習事業等企画運営	59
公1事業合計			65,299
【収1】 維持管理	遊学館施設等の一部維持、管 理及び貸与に関する事業	遊学館・生涯学習センター(霞城セントラル)施設 運営管理	41,535
		洗心庵施設運営管理	3,057
	生涯学習センター駐車場		2,927
	自販機関連事業		70
収1事業合計			47,589
生涯学習部門合計			112,888

文化振興部門(山形県郷土館)

区分	柱立て	事業名	令和7年度 事業費① 人件費除き
【公2】 県民の文化振興に関 する事業	1 施設の保存・公開と県民の 郷土への理解促進	郷土館管理運営事業	82,296
	2 県民文化活動の場の提供	総合文化芸術館管理運営事業	1,151
	3 文化力の向上を目指す芸 術文化事業の実施	文翔館芸術劇場	1,556
		文翔館創作劇場	983
		芸術文化鑑賞普及事業	6,659
		(内訳)オペラ	2,161
		(内訳)みんなで創る音楽会	2,380
		(内訳)ホリデーコンサート	2,118
	4 県民文化活動の拠点施設	文化団体等連携支援事業	20,260
		アート・サポート事業	1,659
文翔館文化活動支援事業		111	
公2事業費計		114,675	

区分	柱立て	事業名	令和7年度 事業費① 人件費除き
【収2】文翔館施設の一部維持、管理及び貸与に関する事業		文翔館施設管理運営事業	2,239
		文翔館啓発用グッズ販売事業	300
		文翔館ウエディングフォト活用事業	0
		スタインウェイを弾いてみよう2024	10
収2事業費計			2,549
文化振興部門合計			117,224

男女共同参画部門(山形県男女共同参画センター)

区分	柱立て	事業名	令和7年度 事業費① 人件費除き
【公3】 男女共同参画の推進 に関する事業	1 県民の男女共同参画に関する意識改革	学習・研修・普及啓発事業	1,176
		情報収集・提供事業	2,224
	2 地域における身近な男女共同参画の推進	地域連携強化事業	543
		団体活動支援・交流事業	1,798
	3 ワークライフバランス及び女性の活躍推進	女性の人材育成事業	1,922
		男性の意識啓発事業	108
		次世代人材育成事業	645
	4 男女共同参画に関する相談・支援	相談事業	1,639
	5 性の多様性に関する相談事業	性の多様性に関する相談事業	1,257
	(5女性のつながり緊急サポート事業)	5女性のつながり緊急サポート事業	0
	6 その他男女共同に関する業務	調査・研究事業	49
		運営管理事業	1,814
	その他	全国大会	0
男女共同参画部門合計			13,175

総 務 部 門

区分	柱立て	事業名	令和7年度 事業費① 人件費除き
【その他1】公益財団法人やまがた教育振興財団の事務に関する事業		他1事業合計	71
【法人】管理費		法人会計合計	10,394
管理費等合計(人件費を除く)			10,465

総 合 計

区 分	令和7年度 当初予算①
事業費合計(人件費を除く)	253,752
人件費合計(退職給付費用を含む)	170,890
総 合 計	424,642

※予算額は管理費の配賦前である。

4 令和7年度収支予算

収 支 予 算 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	24,188	24,158	30
特定資産受取利息	24,188	24,158	30
受取利用料金	21,152	21,108	44
受取利用料金	21,152	21,108	44
事業収益	256,447	248,255	8,192
自主事業収益	4,168	4,501	△ 333
受託事業収益	252,279	243,754	8,525
受取補助金等	10,161	10,081	80
受取県補助金	10,086	9,881	205
受取その他補助金	75	200	△ 125
受取負担金	8,298	8,592	△ 294
受取負担金	8,298	8,592	△ 294
受取寄附金	101,995	102,000	△ 5
受取寄附金振替額	101,995	102,000	△ 5
雑収益	524	362	162
受取利息	1	1	0
雑収益	523	361	162
経常収益計	422,765	414,556	8,209
(2) 経常費用			
事業費	399,627	393,091	6,536
自主事業費	109,986	117,451	△ 7,465
役員報酬	6,592	6,536	56
給料手当	7,841	7,841	0
臨時雇賃金	37,796	38,336	△ 540
退職給付費用	471	788	△ 317
福利厚生費	8,555	8,505	50
会議費	510	468	42
旅費交通費	1,551	1,843	△ 292
通信運搬費	1,319	1,501	△ 182

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
什器備品費	477	0	477
消耗品費	1,733	2,008	△ 275
印刷製本費	2,446	3,149	△ 703
燃料費	156	156	0
賃借料	1,741	972	769
保険料	242	227	15
諸謝金	1,529	2,118	△ 589
租税公課	5	6	△ 1
支払負担金	4,242	2,242	2,000
支払助成金	24,455	26,280	△ 1,825
委託費	6,116	12,048	△ 5,932
物販仕入費	300	300	0
雑費	1,909	2,127	△ 218
受託事業費	289,641	275,640	14,001
臨時雇賃金	78,711	69,045	9,666
福利厚生費	12,407	11,025	1,382
会議費	1,296	1,281	15
旅費交通費	2,955	2,544	411
通信運搬費	2,785	2,705	80
什器備品費	689	230	459
消耗品費	4,795	4,499	296
修繕費	6,387	6,358	29
印刷製本費	3,289	2,898	391
燃料費	3,633	3,960	△ 327
光熱水費	11,032	11,730	△ 698
賃借料	2,196	2,447	△ 251
保険料	257	266	△ 9
諸謝金	4,473	4,365	108
租税公課	6,558	6,511	47
支払負担金	13,920	13,943	△ 23
支払助成金	910	910	0
委託費	133,014	130,586	2,428
雑費	334	337	△ 3
管理費	23,138	21,465	1,673
役員報酬	6,955	7,386	△ 431
臨時雇賃金	8,057	6,753	1,304
福利厚生費	2,378	2,283	95
会議費	79	43	36

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	798	558	240
通信運搬費	197	174	23
減価償却費	0	105	△ 105
什器備品費	100	260	△ 160
消耗品費	514	491	23
修繕費	100	200	△ 100
印刷製本費	87	156	△ 69
燃料費	17	17	0
賃借料	404	155	249
保険料	25	23	2
諸謝金	2,413	1,821	592
租税公課	202	202	0
支払負担金	373	373	0
委託費	297	300	△ 3
雑費	142	165	△ 23
経常費用計	422,765	414,556	8,209
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	8,767	4,603	4,164
一般正味財産期末残高	8,767	4,603	4,164
II 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	6,173	6,173	0
特定資産受取利息	6,173	6,173	0
一般正味財産への振替額	△ 108,494	△ 108,499	5
当期指定正味財産増減額	△ 102,321	△ 102,326	5
指定正味財産期首残高	2,666,767	2,747,127	△ 80,360
指定正味財産期末残高	2,564,446	2,644,801	△ 80,355
III 正味財産期末残高	2,573,213	2,649,404	△ 76,191

※当年度の指定正味財産期首残高は令和6年度補正の額である。

収支予算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
特定資産運用益				14,513	14,513						9,676		24,188
特定資産受取利息				14,513	14,513						9,676		24,188
受取利用料金	9,321	4,308	328		13,957	6,118	1,077			7,195			21,152
受取利用料金	9,321	4,308	328		13,957	6,118	1,077			7,195			21,152
事業収益	64,024	105,692	36,925		206,641	46,136	3,670			49,806			256,447
自主事業収益	249	2,865			3,114		1,054			1,054			4,168
受託事業収益	63,775	102,827	36,925		203,527	46,136	2,616			48,752			252,279
受取補助金等	10,086		75		10,161								10,161
受取県補助金	10,086				10,086								10,086
受取その他補助金			75		75								75
受取負担金	1,515	2,358	2,876		6,749		21	1,528		1,549			8,298
受取負担金	1,515	2,358	2,876		6,749		21	1,528		1,549			8,298
受取寄附金				89,939	89,939						12,056		101,995
受取寄附金振替額				89,939	89,939						12,056		101,995
雑収益	203				203	321				321			524
受取利息	1				1								1
雑収益	202				202	321				321			523
経常収益計	85,149	112,358	40,204	104,452	342,163	52,575	4,768	1,528		58,871	21,732		422,765
(2) 経常費用													
事業費	126,643	171,853	43,667		342,163	51,703	4,233	1,528		57,464			399,627
自主事業費	46,201	54,916	6,339		107,456	483	519	1,528		2,530			109,986
役員報酬	1,371	4,399	548		6,318	274				274			6,592
給料手当	7,841				7,841								7,841
臨時雇賃金	16,141	15,419	4,645		36,205	161	161	1,269		1,591			37,796
退職給付費用	471				471								471
福利厚生費	4,358	2,951	962		8,271	48	48	188		284			8,555
会議費	474	36			510								510
旅費交通費	1,277	274			1,551								1,551
通信運搬費	1,068	235			1,303			16		16			1,319
什器備品費	120	357			477								477
消耗品費	1,508	160			1,665		10	55		65			1,730
印刷製本費	1,946	500			2,446								2,446
燃料費	52	87	17		156								156
賃借料	1,721	20			1,741								1,741
保険料	92	125	25		242								242
諸謝金	1,505	24			1,529								1,529
租税公課		5			5								5
支払負担金	230	4,012			4,242								4,242
支払助成金	4,630	19,823			24,455								24,455
委託費	774	5,342			6,116								6,116
物販仕入費							300			300			300
雑費	622	1,145	142		1,909								1,909
受託事業費	80,442	116,937	37,328		234,707	51,220	3,714			54,934			289,641
臨時雇賃金	23,814	29,402	20,987		74,203	3,153	1,355			4,508			78,711
福利厚生費	3,851	4,569	3,266		11,689	509	209			718			12,407
会議費	28	1,128	140		1,296								1,296
旅費交通費	437	1,542	976		2,955								2,955
通信運搬費	542	838	1,182		2,562	43	180			223			2,785
什器備品費	207	459			666	23				23			689
消耗品費	1,114	1,678	940		3,732	705	358			1,063			4,795
修繕費	776	4,840	20		5,636	702	49			751			6,387
印刷製本費	490	984	1,539		3,013	30	246			276			3,289

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
燃料費		3,597			3,597		36			36			3,633
光熱水費	1,409	9,371			10,780	157	95			252			11,032
賃借料	450	818	712		1,980	46	170			216			2,196
保険料	72	133	39		244	13				13			257
諸謝金	495	180	3,798		4,473								4,473
租税公課	2,440	2,189	684		5,313	823	422			1,245			6,558
支払負担金	60	192	40		292	13,628				13,628			13,920
支払助成金			910		910								910
委託費	44,215	54,854	2,008		101,077	31,383	554			31,937			133,014
雑費	42	163	84		289	5	40			45			334
管理費											23,139		23,139
役員報酬											6,955		6,955
臨時雇賃金											8,057		8,057
福利厚生費											2,378		2,378
会議費											79		79
旅費交通費											798		798
通信運搬費											197		197
什器備品費											100		100
消耗品費											514		514
修繕費											100		100
印刷製本費											87		87
燃料費											17		17
賃借料											404		404
保険料											25		25
諸謝金											2,413		2,413
租税公課											202		202
支払負担金											373		373
委託費											297		297
雑費											142		142
経常費用計	126,643	171,853	43,667		342,163	51,703	4,233	1,528		57,464	23,139		422,765
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 41,494	△ 59,495	△ 3,463	104,452		872	535			1,407	△ 1,407		
基本財産評価損益等													
特定資産評価損益等													
投資有価証券評価損益等													
評価損益等計													
当期経常増減額	△ 41,494	△ 59,495	△ 3,463	104,452		872	535			1,407	△ 1,407		
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
中科目別記載													
経常外収益計													
(2) 経常外費用													
中科目別記載													
経常外費用計													
当期経常外増減額													
他会計振替額						△ 872	△ 535			△ 1,407	1,407		
当期一般正味財産増減額	△ 41,494	△ 59,495	△ 3,463	104,452									
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		8,767
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		8,767
II 指定正味財産増減の部													
特定資産運用益				3,704	3,704						2,469		6,173
特定資産受取利息				3,704	3,704						2,469		6,173
一般正味財産への振替額				△ 93,838	△ 93,838						△ 14,656		△ 108,494
当期指定正味財産増減額				△ 90,134	△ 90,134						△ 12,187		△ 102,321
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,666,767
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,564,446
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,573,213

5 令和6年度決算

貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	39,536,215	42,540,248	△ 3,004,033
未収金	1,230,829	2,739,287	△ 1,508,458
前払金	33,130	31,150	1,980
立替金	0	3,984	△ 3,984
流動資産合計	40,800,174	45,314,669	△ 4,514,495
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
生涯学習文化事業資産	2,665,361,843	2,752,324,197	△ 86,962,354
定期預金	120,000,000	120,000,000	0
普通預金	342,336,129	429,136,129	△ 86,800,000
投資有価証券	2,203,025,714	2,203,188,068	△ 162,354
生涯学習文化事業収蔵品	18,975,000	18,975,000	0
車両運搬具	1	1	0
退職給付引当資産	7,603,508	7,192,508	411,000
特定資産合計	2,691,940,352	2,778,491,706	△ 86,551,354
(2) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1	1	0
ソフトウエア	0	104,760	△ 104,760
長期前払金	21,780	53,964	△ 32,184
その他固定資産合計	21,782	158,726	△ 136,944
固定資産合計	2,691,962,134	2,778,650,432	△ 86,688,298
資産合計	2,732,762,308	2,823,965,101	△ 91,202,793
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	30,745,002	34,694,538	△ 3,949,536
前受金	18,690	287,340	△ 268,650
預り金	258,648	1,724,341	△ 1,465,693
仮受金	5,400	0	5,400
流動負債合計	31,027,740	36,706,219	△ 5,678,479
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,603,508	7,192,508	411,000
固定負債合計	7,603,508	7,192,508	411,000
負債合計	38,631,248	43,898,727	△ 5,267,479
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	2,684,336,843	2,771,299,197	△ 86,962,354
指定正味財産合計	2,684,336,843	2,771,299,197	△ 86,962,354
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,684,336,843)	(2,771,299,197)	(△86,962,354)
2. 一般正味財産	9,794,217	8,767,177	1,027,040
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1)	(1)	(0)
正味財産合計	2,694,131,060	2,780,066,374	△ 85,935,314
負債及び正味財産合計	2,732,762,308	2,823,965,101	△ 91,202,793

正味財産増減計算書

令和年6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	24,188,587	28,465,953	△ 4,277,366
特定資産受取利息	24,188,587	28,465,953	△ 4,277,366
受取利用料金	19,301,595	18,888,250	413,345
受取利用料金	19,301,595	18,888,250	413,345
事業収益	247,755,567	246,903,155	852,412
自主事業収益	3,804,088	4,167,600	△ 363,512
受託事業収益	243,951,479	242,735,555	1,215,924
受取補助金等	9,910,000	9,702,937	207,063
受取県補助金	9,710,000	9,585,000	125,000
受取その他補助金	200,000	117,937	82,063
受取負担金	3,754,000	1,528,000	2,226,000
受取負担金	3,754,000	1,528,000	2,226,000
受取寄附金	86,994,000	84,700,000	2,294,000
受取寄附金等振替額	86,994,000	84,700,000	2,294,000
雑収益	1,791,111	503,607	1,287,504
受取利息	4,620	68	4,552
雑収益	1,786,491	503,539	1,282,952
経常収益計	393,694,860	390,691,902	3,002,958
(2) 経常費用			
事業費	371,764,254	370,880,095	884,159
自主事業費	99,483,047	108,057,087	△ 8,574,040
役員報酬	6,658,794	6,568,300	90,494
給料手当	7,748,588	7,615,805	132,783
臨時雇賃金	30,351,945	34,959,578	△ 4,607,633
退職給付費用	411,000	390,076	20,924
福利厚生費	7,070,960	8,241,183	△ 1,170,223
会議費	395,292	357,186	38,106
旅費交通費	942,538	898,944	43,594
通信運搬費	900,306	953,999	△ 53,693
消耗品費	1,190,668	1,213,045	△ 22,377

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	2,087,073	2,169,343	△ 82,270
燃料費	80,073	94,096	△ 14,023
賃借料	761,473	775,749	△ 14,276
保険料	222,581	224,327	△ 1,746
諸謝金	1,243,000	1,319,478	△ 76,478
租税公課	65,556	59,951	5,605
支払負担金	4,208,000	2,194,868	2,013,132
支払助成金	25,212,871	25,149,742	63,129
委託費	7,853,725	13,212,232	△ 5,358,507
物販仕入費	281,283	380,360	△ 99,077
雑費	1,797,321	1,278,825	518,496
受託事業費	272,281,207	262,823,008	9,458,199
臨時雇賃金	72,381,638	66,700,760	5,680,878
福利厚生費	11,252,592	10,652,111	600,481
会議費	955,985	410,365	545,620
旅費交通費	1,766,030	1,834,112	△ 68,082
通信運搬費	2,200,935	2,094,460	106,475
什器備品費	271,700	0	271,700
消耗品費	4,464,869	4,178,528	286,341
修繕費	7,342,929	7,273,717	69,212
印刷製本費	2,586,820	2,689,625	△ 102,805
燃料費	5,406,012	4,419,580	986,432
光熱水費	9,825,946	8,544,572	1,281,374
賃借料	1,850,974	2,192,011	△ 341,037
保険料	222,540	226,690	△ 4,150
諸謝金	2,862,300	4,268,483	△ 1,406,183
租税公課	6,493,044	5,937,549	555,495
支払負担金	13,184,834	12,413,060	771,774
支払助成金	621,027	941,802	△ 320,775
委託費	128,365,311	127,735,898	629,413
雑費	225,721	309,685	△ 83,964
管理費	20,903,566	19,162,948	1,740,618
役員報酬	7,076,556	6,866,850	209,706
臨時雇賃金	7,828,701	6,762,213	1,066,488
福利厚生費	2,329,649	2,157,728	171,921
会議費	50,429	44,186	6,243
旅費交通費	441,240	247,787	193,453

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	105,546	90,223	15,323
減価償却費	104,760	104,760	0
什器備品費	0	68,860	△ 68,860
消耗品費	281,755	330,603	△ 48,848
印刷製本費	33,726	72,732	△ 39,006
燃料費	8,896	10,455	△ 1,559
賃借料	150,718	96,429	54,289
保険料	24,350	23,934	416
諸謝金	1,738,000	1,638,000	100,000
租税公課	156,000	153,000	3,000
支払負担金	302,200	304,604	△ 2,404
委託費	178,200	90,750	87,450
雑費	92,840	99,834	△ 6,994
経常費用計	392,667,820	390,043,043	2,624,777
評価損益等調整前当期経常増減額	1,027,040	648,859	378,181
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,027,040	648,859	378,181
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,027,040	648,859	378,181
一般正味財産期首残高	8,767,177	8,118,318	648,859
一般正味財産期末残高	9,794,217	8,767,177	1,027,040
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	6,336,646	16,909,312	△ 10,572,666
特定資産受取利息	6,336,646	16,909,312	△ 10,572,666
受取寄附金	194,000	0	194,000
受取寄附金	194,000	0	194,000
一般正味財産への振替額	△ 93,493,000	△ 102,952,709	9,459,709
一般正味財産への振替額	△ 93,493,000	△ 102,952,709	9,459,709
当期指定正味財産増減額	△ 86,962,354	△ 86,043,397	△ 918,957
指定正味財産期首残高	2,771,299,197	2,857,342,594	△ 86,043,397
指定正味財産期末残高	2,684,336,843	2,771,299,197	△ 86,962,354
Ⅲ 正味財産期末残高	2,694,131,060	2,780,066,374	△ 85,935,314

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引 等消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
特定資産運用益				14,655,972	14,655,972						9,532,615		24,188,587
特定資産受取利息				14,655,972	14,655,972						9,532,615		24,188,587
受取利用料金	8,412,485	4,298,756	213,945		12,925,186	5,301,720	1,074,689			6,376,409			19,301,595
受取利用料金	8,412,485	4,298,756	213,945		12,925,186	5,301,720	1,074,689			6,376,409			19,301,595
事業収益	63,326,500	106,679,217	29,799,000		199,804,717	45,157,000	2,793,850			47,950,850			247,755,567
自主事業収益	178,500	2,668,738			2,847,238		956,850			956,850			3,804,088
受託事業収益	63,148,000	104,010,479	29,799,000		196,957,479	45,157,000	1,837,000			46,994,000			243,951,479
受取補助金等	9,710,000		200,000		9,910,000								9,910,000
受取県補助金	9,710,000				9,710,000								9,710,000
受取その他補助金			200,000		200,000								200,000
受取負担金		1,361,000	865,000		2,226,000			1,528,000		1,528,000			3,754,000
受取負担金		1,361,000	865,000		2,226,000			1,528,000		1,528,000			3,754,000
受取寄附金			194,000	75,300,000	75,494,000						11,500,000		86,994,000
受取寄附金等振替額			194,000	75,300,000	75,494,000						11,500,000		86,994,000
雑収益	172,931	58,646	1,261,000		1,492,577	298,534				298,534			1,791,111
受取利息	1,701	2,919			4,620								4,620
雑収益	171,230	55,727	1,261,000		1,487,957	298,534				298,534			1,786,491
経常収益計	81,621,916	112,397,619	32,532,945	89,955,972	316,508,452	50,757,254	3,868,539	1,528,000		56,153,793	21,032,615		393,694,860
(2) 経常費用													
事業費	115,572,888	164,342,919	36,629,790		316,545,597	50,005,047	3,685,610	1,528,000		55,218,657			371,764,254
自主事業費	39,722,767	50,884,196	6,257,562		96,864,525	474,591	615,931	1,528,000		2,618,522			99,483,047
役員報酬	1,357,137	4,355,891	542,855		6,255,883	271,427	131,484			402,911			6,658,794
給料手当	7,748,588				7,748,588								7,748,588
臨時雇賃金	15,432,109	10,383,345	2,954,345		28,769,799	156,573	156,573	1,269,000		1,582,146			30,351,945
退職給付費用	411,000				411,000								411,000
福利厚生費	4,148,603	2,040,248	600,927		6,789,778	46,591	46,591	188,000		281,182			7,070,960
会議費	329,596	31,627	34,069		395,292								395,292
旅費交通費	680,667	15,390	246,481		942,538								942,538
通信運搬費	745,836	72,470	66,000		884,306			16,000		16,000			900,306
消耗品費	811,431	41,952	282,285		1,135,668			55,000		55,000			1,190,668
印刷製本費	1,205,369	534,603	347,101		2,087,073								2,087,073
燃料費	26,690	44,487	8,896		80,073								80,073
賃借料	726,606	34,867			761,473								761,473
保険料	76,481	121,750	24,350		222,581								222,581
諸謝金	1,098,000		145,000		1,243,000								1,243,000
租税公課		65,556			65,556								65,556
支払負担金	194,000	4,014,000			4,208,000								4,208,000
支払助成金	3,791,871	21,421,000			25,212,871								25,212,871
委託費	533,225	6,906,900	413,600		7,853,725								7,853,725
物販仕入費							281,283			281,283			281,283
雑費	405,558	800,110	591,653		1,797,321								1,797,321
受託事業費	75,850,121	113,458,723	30,372,228		219,681,072	49,530,456	3,069,679			52,600,135			272,281,207
臨時雇賃金	22,311,549	27,764,350	17,717,165		67,793,064	3,325,924	1,262,650			4,588,574			72,381,638
福利厚生費	3,543,367	4,309,681	2,695,317		10,548,365	508,167	196,060			704,227			11,252,592
会議費	27,620	856,441	71,924		955,985								955,985
旅費交通費	232,192	1,176,745	357,093		1,766,030								1,766,030
通信運搬費	446,197	562,530	1,030,430		2,039,157	36,777	125,001			161,778			2,200,935
什器備品費	244,530				244,530	27,170				27,170			271,700
消耗品費	1,093,416	1,501,986	967,535		3,562,937	551,442	350,490			901,932			4,464,869
修繕費	1,203,623	5,029,351			6,232,974	1,059,154	50,801			1,109,955			7,342,929
印刷製本費	101,200	744,646	1,554,813		2,400,659		186,161			186,161			2,586,820
燃料費	14,807	5,335,665			5,350,472	1,645	53,895			55,540			5,406,012
光熱水費	1,066,823	8,554,183			9,621,006	118,535	86,405			204,940			9,825,946
賃借料	416,495	596,300	671,840		1,684,635	42,499	123,840			166,339			1,850,974
保険料	72,378	118,500	18,620		209,498	13,042				13,042			222,540
諸謝金	743,000	52,000	2,067,300		2,862,300								2,862,300

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引 等消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	収 1	収 2	他 1	共通	小計			
租税公課	1,639,800	2,622,240	854,228		5,116,268	1,311,220	65,556			1,376,776			6,493,044
支払負担金	40,000	119,500	30,000		189,500	12,995,334				12,995,334			13,184,834
支払助成金			621,027		621,027								621,027
委託費	42,619,311	54,019,281	1,645,280		98,283,872	29,535,790	545,649			30,081,439			128,365,311
雑費	33,813	95,324	69,656		198,793	3,757	23,171			26,928			225,721
管理費											20,903,566		20,903,566
役員報酬											7,076,556		7,076,556
臨時雇賃金											7,828,701		7,828,701
福利厚生費											2,329,649		2,329,649
会議費											50,429		50,429
旅費交通費											441,240		441,240
通信運搬費											105,546		105,546
減価償却費											104,760		104,760
消耗品費											281,755		281,755
印刷製本費											33,726		33,726
燃料費											8,896		8,896
賃借料											150,718		150,718
保険料											24,350		24,350
諸謝金											1,738,000		1,738,000
租税公課											156,000		156,000
支払負担金											302,200		302,200
委託費											178,200		178,200
雑費											92,840		92,840
経常費用計	115,572,888	164,342,919	36,629,790		316,545,597	50,005,047	3,685,610	1,528,000		55,218,657	20,903,566		392,667,820
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 33,950,972	△ 51,945,300	△ 4,096,845	89,955,972	△ 37,145	752,207	182,929			935,136	129,049		1,027,040
評価損益等計													
当期経常増減額	△ 33,950,972	△ 51,945,300	△ 4,096,845	89,955,972	△ 37,145	752,207	182,929			935,136	129,049		1,027,040
2. 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
経常外収益計													
(2) 経常外費用													
経常外費用計													
当期経常外増減額													
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 33,950,972	△ 51,945,300	△ 4,096,845	89,955,972	△ 37,145	752,207	182,929			935,136	129,049		1,027,040
他会計振替額						△ 752,207	△ 182,929			△ 935,136	935,136		
当期一般正味財産増減額	△ 33,950,972	△ 51,945,300	△ 4,096,845	89,955,972	△ 37,145						1,064,185		1,027,040
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		8,767,177
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		9,794,217
II 指定正味財産増減の部													
特定資産運用益				3,801,988	3,801,988						2,534,658		6,336,646
特定資産受取利息				3,801,988	3,801,988						2,534,658		6,336,646
受取寄附金			194,000		194,000								194,000
受取寄附金			194,000		194,000								194,000
一般正味財産への振替額			△ 194,000	△ 79,199,400	△ 79,393,400						△ 14,099,600		△ 93,493,000
一般正味財産への振替額			△ 194,000	△ 79,199,400	△ 79,393,400						△ 14,099,600		△ 93,493,000
当期指定正味財産増減額				△ 75,397,412	△ 75,397,412						△ 11,564,942		△ 86,962,354
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2,771,299,197
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2,684,336,843
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		2,694,131,060

※ 会計区分は次のとおり 公 1 及び収 1：生涯学習部門、公 2 及び収 2：文化振興部門、公 3：男女共同参画部門

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 令和2年5月15日最終改正 内閣府公益認定等委員会策定）を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品・車両運搬具…定額法によっており、残存価額を0円、備忘価額を1円とする。
ソフトウェア…定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (5) リース取引の処理方法
ファイナンス・リース取引（300万円以上）
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、売買取引に準じた会計処理によっている。
ファイナンス・リース取引（300万円未満）
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
生涯学習文化事業資産	2,752,324,197	10,000	86,972,354	2,665,361,843
生涯学習文化事業収蔵品	18,975,000	0	0	18,975,000
車両運搬具	1	0	0	1
退職給付引当資産	7,192,508	411,000	0	7,603,508
小 計	2,778,491,706	421,000	86,972,354	2,691,940,352
合 計	2,778,491,706	421,000	86,972,354	2,691,940,352

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産	0	(0)	(0)	—
小 計	0	(0)	(0)	—
特定資産				
生涯学習文化事業資産	2,665,361,843	(2,665,361,843)	(0)	—
生涯学習文化事業収蔵品	18,975,000	(18,975,000)	(0)	—
車両運搬具	1	(0)	(1)	(0)
退職給付引当資産	7,603,508	—	(0)	(7,603,508)
小 計	2,691,940,352	(2,684,336,843)	(1)	(7,603,508)
合 計	2,691,940,352	(2,684,336,843)	(1)	(7,603,508)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
車両運搬具	2,216,090	2,216,089	1
その他固定資産			
車両運搬具	2,104,930	2,104,929	1
什器備品	360,675	360,674	1
ソフトウェア	523,800	523,800	0
合 計	5,205,495	5,205,492	3

５．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
第184回利付国債(20年)	403,102,381	338,120,000	△ 64,982,381
地方公共団体金融機構債券			
第170回地方公共団体金融機構債(10年)	100,000,000	93,560,000	△ 6,440,000
第171回地方公共団体金融機構債(10年)	100,000,000	94,500,000	△ 5,500,000
社債			
第517回九州電力社債(10年)	100,000,000	92,690,000	△ 7,310,000
第59回ソフトバンクグループ株式会社無担保社債(7年)	100,000,000	97,879,900	△ 2,120,100
第47回東京電力パワーグリッド株式会社社債(10年)	100,000,000	92,818,400	△ 7,181,600
第66回東京電力パワーグリッド社債(10年)2本	200,000,000	187,171,300	△ 12,828,700
第69回東京電力パワーグリッド社債(10年)	100,000,000	97,030,000	△ 2,970,000
第3回東北電力株式会社劣後債(10年)	99,923,333	98,245,000	△ 1,678,333
第559回東北電力社債(3年)2本	200,000,000	198,457,000	△ 1,543,000
第78回西日本高速道路株式会社社債(5年)2本	200,000,000	195,259,000	△ 4,741,000
第306回日本高速道路保有債務返済機構債(10年)	100,000,000	93,670,000	△ 6,330,000
ノムラグローバルファイナンス社債(10年)	200,000,000	179,920,000	△ 20,080,000
第108回東日本高速道路株式会社社債(10年)	100,000,000	93,340,400	△ 6,659,600
ルノー第26回円貨社債(4年)	100,000,000	99,990,000	△ 10,000
合 計	2,203,025,714	2,052,651,000	△ 150,374,714

６．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
山形県明るい長寿社会づくり推進事業費補助金	山形県	0	9,710,000	9,710,000	0	—
全国女性会館協議会第68回全国大会助成金	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	0	200,000	200,000	0	—
負担金						
山形県文化芸術交流発信事業 実行委員会負担金	山形県	0	1,361,000	1,361,000	0	—
全国女性会館協議会山形県負担金	山形県		865,000	865,000	0	
公益財団法人やまがた教育振興財団運営 事務負担金	公益財団法人 やまがた教育振興財団	0	1,528,000	1,528,000	0	—
合 計		0	13,664,000	13,664,000	0	

７．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
第184回利付国債利息	4,400,000
第3回東北電力株式会社劣後債(10年)	2,099,000
事業実施にかかる指定解除額	86,994,000
合 計	93,493,000

８．ファイナンス・リース取引関係(300万円未満)

ア．リース物件の取得価額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

	SmartNetcommunity α AI主装置・その他機器		ノートパソコン2台		合計
	生涯学習センター	男女共同参画センター	洗心庵		
取得価額相当額	2,786,784	1,108,800	303,600		4,199,184
減価償却累計額相当額	2,023,736	805,200	93,060		2,921,996
期末残高相当額	763,048	303,600	210,540		1,277,188

イ．未経過リース料期末残高相当額

(単位：円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	611,952	665,236	1,277,188

ウ．当期の支払リース料及び減価償却相当額

(単位：円)

支払リース料	580,932
減価償却費相当額	580,932

エ．減価償却費相当額の算定方法は、リース期間定額法によっている。

9. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、国債、地方債、地方金融機構債、社債により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、国債、地方債、地方金融機構債、社債であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用方針に基づく取引

金融商品の取引は、資産運用方針に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

なお、財務諸表の注記のうち該当事項がないものについては、記載を省略している。

※1 一般正味財産増減の部 (1)経常収益の特定資産運用益（特定資産受取利息）は全投資有価証券及び定期預金の受取利息である。

※2 指定正味財産増減の部 特定資産運用益（特定資産受取利息）の内訳は、

① 第184回利付国債の利息 4,400,000円から償却原価法による償却額 172,354円を減額した額 4,227,646円

② 第3回東北電力(株)劣後債の利息 2,099,000円から償却原価法による償却額 10,000円を加算した額 2,109,000円の合計 6,336,646円である。

※3 注記 7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳のうち事業実施にかかる指定解除額 86,994,000円は、

① 全国女性会館協議会全国大会の受取寄附金 194,000円

② 特定資産取崩による受取寄附金 86,800,000円 の合計額である。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているため内容を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	7,192,508	411,000			7,603,508

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	小口現金	生涯学習センター内金庫	手元有高 運転資金として	27,750
			同 上 ブックス釣銭用として	20,000
			同 上 利用料金等釣銭用として	20,000
		洗心庵内金庫	同 上 利用料金釣銭用として	20,000
		文翔館内金庫	同 上 運転資として	70,000
			同 上 ボランティアガイド旅費として	40,700
	現金	生涯学習センター内金庫	利用料金の一時保管	53,730
		洗心庵内金庫	同 上	2,850
		文翔館内金庫	文翔館グッズ売上代金の一時保管	36,250
	普通預金	山形銀行本店1	経費支払用口座 運転資金として	32,637,796
		山形銀行本店2	施設利用料振込口座 運転資金として	417,743
		山形銀行本店3	施設利用料振込口座 運転資金として	793,988
		荘内銀行県庁前支店1	施設利用料振込口座 運転資金として	101,947
		荘内銀行県庁前支店2	施設利用料振込口座 運転資金として	10,808
		きらやか銀行本店1	施設利用料振込口座 運転資金として	140,196
		きらやか銀行本店2	施設利用料振込口座 運転資金として	69,564
		きらやか銀行本店3	チケット代振込口座 運転資金として	2,586,007
		ゆうちょ銀行1	受講料振込口座 運転資金として	14,799
		ゆうちょ銀行2	施設利用料振込口座 運転資金として	2,247,902
		ゆうちょ銀行3	施設利用料振込口座 運転資金として	23,670
		ゆうちょ銀行4	施設利用料振込口座 運転資金として	34,795
		ゆうちょ銀行5	施設利用料振込口座 運転資金として	165,720
			＜現金預金計＞	39,536,215
	未収金	遊学館等施設利用者 11件	施設利用料金として	115,650
		書店	遊学館ブックス売上金として	12,760
		山形県委託事業受託料	総合文化芸術館管理運営事業 他1件	855,000
		文翔館自主事業収入)	The 4 Players Tpkyo チケット代金	221,800
		その他	自販機委託販売手数料 (3月分)	25,619
			＜未収金計＞	1,230,829
	前払金	郷土館	郷土館ボランティアガイド年間活動保険料等	27,300
			4月分AEDレンタル料	5,830
			＜前払金計＞	33,130
流動資産合計				40,800,174

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産)				
特 定 資 産	生涯学習文化事業資産	(定期預金)	事業目的資金として短期運用保有	(120,000,000)
		山形銀行本店 4	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財産として使用している。	20,000,000
		山形銀行本店 5	同 上	60,000,000
		山形銀行本店 6	管理目的保有財産であり、運用益を管理目的事業の財産として使用している。	40,000,000
		(普通預金)		(342,336,129)
		山形銀行本店 1	公益目的事業及び法人会計で保有	342,336,129
		(投資有価証券)	満期保有目的で保有 (保有割合 公益：法人＝6：4)	(2,203,025,714)
		国債 1 件	公益目的事業及び法人会計で保有し、運用益は公益目的事業及び法人会計の財源として使用している。	403,102,381
		地方公共団体金融機構債券 2 件	同 上	200,000,000
		社債 15 件	同 上	1,599,923,333
	生涯学習文化事業収蔵品	絵画8点、彫刻1点	公益目的事業で保有し、公益目的事業の用に供している。	18,975,000
	車両運搬具	トヨタウィッシュ 1台	法人管理業務に供するため保有する車両	1
	退職給付引当資産	山形銀行 定期預金	公益目的事業従事職員1名の退職金の財源として管理している預金	7,603,508
			《特定資産計》	2,691,940,352
その他固定資産	車両運搬具	トヨタアクア 1台	公益目的事業及び法人管理業務に供するため保有する車両(保有割合 公益：法人＝9：1)	1
	什器備品	プラズマテレビ一式	公益目的事業に供している。	1
	長期前払金	自動車リサイクル料金	公益目的事業で保有しているトヨタアクアリサイクル預託金	10,360
		自動車リサイクル料金	法人会計で保有しているトヨタウィッシュリサイクル預託金	11,420
			＜長期前払金合計＞	21,780
			《その他固定資産計》	21,782
固定資産合計				2,691,962,134
資 産 合 計				2,732,762,308
(流動負債)				
	未払金	令和 6 年度未払金 170 件	各事業及び法人管理業務の未払額 (臨時雇賃金・福利厚生費・通信運搬費・消耗品費・修繕費・印刷製本費・委託費ほか) (主な費用は以下のとおり)	(30,745,002)
			1.委託費 (計 41 件)	
			・遊学館空調設備関係保守業務委託料	4,114,000
			・遊学館総合案内受付・設備警備委託料	1,038,583
			・遊学館清掃・衛生管理業務委託料	1,405,800
			・洗心庵庭園管理業務委託料	2,667,500
			・文翔館警備委託料3月分	1,198,010
			・文翔館清掃業務委託料3月分	1,289,640
			・文翔館植栽維持管理委託料	1,045,000
			・その他業務委託料	8,225,896
			2.租税公課 (計 3 件)	
			・令和 6 年度消費税	2,059,500

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
			・ 令和 6 年度年度法人県民・市民税	72,000
			3.その他経費 (126件)	7,629,073
			＜未払金計＞	30,745,002
	前受金	文翔館利用者 5件	令和7年度施設利用料金として 4件	13,690
			令和7年度ウェディングフォト事業	5,000
			＜前受金計＞	18,690
	仮受金	文翔館利用者 1件	文翔館施設利用料の重複入金分	5,400
			＜仮受金計＞	5,400
	預り金	職員	社会保険料（個人負担分）として	231,792
			講師謝金等にかかる源泉所得税など	26,856
			＜預り金計＞	258,648
流動負債合計				31,027,740
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	公益目的事業従事職員1名に対する退職金の支払に備えたもの	7,603,508
			＜退職給付引当金計＞	7,603,508
固定負債合計				7,603,508
負 債 合 計				38,631,248
正 味 財 産				2,694,131,060

Ⅱ 総務・管理部門

Ⅱ 総務・管理部門 (財団の本部的機能)

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023) 625-6411

貸館専用 TEL (023) 676-7182

F A X (023) 625-6415

1 概 要

(1) 本部的機能と役割

公益財団法人山形県生涯学習文化財団の事務局組織を5部制（総務部、管理部、学習振興部、文化振興部、男女共同参画部）として事業を展開していく。

その中で、総務部は財団の予算、経理及び決算をはじめ資産の運用管理など本部的機能を持つとともに、次の事務を担っている。

- ① 理事会及び評議員会に関すること
- ② 定款及び諸規程に関すること
- ③ 登記に関すること
- ④ 組織、人事、服務、給与及び懲戒に関すること
- ⑤ 事業計画及び資金計画に関すること
- ⑥ 予算、経理及び決算に関すること
- ⑦ 財産の管理及び現金の出納に関すること
- ⑧ 情報公開に関すること
- ⑨ 個人情報の保護に関すること
- ⑩ 公印に関すること

また、管理部は、指定管理者として遊学館及び洗心庵の適正な管理運営を担っている。

- ① 山形県生涯学習センター、山形県男女共同参画センター及び山形県生涯学習センター分館（山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）にかかる施設及び付属設備等の利用許可並びに利用者サービス等の適正な執行に関すること
- ② 県立図書館を含む遊学館の効率的な施設管理の実施に関すること
- ③ 生涯学習センター（霞城セントラル）施設の維持管理
- ④ 歴史文化ゾーン（文翔館、遊学館、洗心庵、博物館分館教育資料館）を活用した情報の提供と活性化

2 令和7年度事業計画

【 総務部門 】

(1) 理事会及び評議員会の開催

(6月12日(木)) 第1回理事会

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・平成6年度事業報告及び決算（事前に監事による監査を実施）
- ・役員等候補者の選出
- ・定時評議員会の招集

(6月27日(金)) 定時評議員会

- ・平成6年度事業報告及び決算
- ・評議員の選任
- ・理事の選任

(3月) 第2回理事会

- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・令和8年度事業計画及び収支予算

(2) 県議会へ提出する法人経営状況説明書の県提出（地方自治法243条の3第2項、9月県議会）

- ・平成6年度事業報告及び決算
- ・令和7年度事業計画及び収支予算

(3) 特定資産の適正な管理及び運用

- ・財団事業運営の財源となる特定資産運用益の確保を図るため、安全かつ有利な運用を図る。

特定資産（生涯学習文化事業資産） 2,665,361,843 円（平成7年4月1日現在）

令和7年度 予定運用収入 24,188,000 円

令和7年度 予定取崩収入 101,995,000 円

(4) 人事・組織などの適正な管理

【 管理部門 】

《 公益目的事業会計 》

公1：県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業

(1) 県民生涯学習活動の場の提供

① 生涯学習センター、分館「洗心庵」、男女共同参画センターの指定管理業務

ア 県民が生涯学習、芸術文化及び男女共同参画を身近に感じ、その活動のために気軽に利用できる環境づくりを行う。

イ 県民の平等な利用の確保に配慮し、「利用しやすい」「また利用したい」と感じてもらえる適正な貸館業務を行う。

ウ ニーズの高いWeb会議等に対応したICTを活用し、生涯学習センターの利用しやすい環境づくりと県民サービスの向上、男女共同参画センターの利用のPRに一層努めるほか、図書館や公文書センター、大学コンソーシアム等と連携し、本県の生涯学習活動の拠点として「遊学館」のネームバリューを活かした施設の利用促進に取り組む。

② 施設の利用促進事業

ア 分館「洗心庵」は、より多くの県民に親しんでもらえるよう呈茶事業・写真コンテストを行い、知名度向上や利用促進に努める。

イ 複合施設「遊学館」、分館「洗心庵」、県郷土館「文翔館」と県立博物館分館「教育資料館」の4施設が連携し、学習環境に優れたエリアとして情報を発信し、利用の促進を図っていく。

また、このエリアが「歴史文化ゾーン」と名付けられていることから、エリア内の歴史的文化的な資源を発掘、利活用しながら、「歴史文化ゾーン」の名にふさわしいストーリー性を持った魅力を発信していく。

《 収益事業等会計 》

遊学館等の一部維持、管理及び貸与に関する事業

(1) 遊学館・生涯学習センター（霞城セントラル）施設維持管理事業

(2) 遊学館駐車場管理事業

遊学館駐車場を遊学館閉館日も開場し、県民の利便性向上を図る。

(3) 遊学館自動販売機管理事業

3 令和6年度事業実績

【 総務部門 】

(1) 会議の開催状況

① 理事会

ア 第1回理事会（みなし決議）

- ・提案日 令和6年3月21日(木)
- ・決議があったとみなされた日 令和6年4月1日(月)
- ・議案 専務理事、常務理事の選定について

イ 第2回理事会

- 開催日 令和6年6月5日(水)
- 報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
- 議案 令和5年度事業報告について
令和5年度決算について
役員等候補者の選出について
令和6年度定時評議員会の招集について

ウ 第3回理事会（みなし決議）

- ・提案日 令和6年6月26日(水)
- ・決議があったとみなされた日 令和6年6月26日(水)
- ・議案 代表理事、専務理事、常務理事の選定について

エ 臨時理事会

- 開催日 令和6年12月4日(水)
- 報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
- 議案 令和6年度収支予算の補正について
就業規則の一部改正について

オ 第4回理事会

- 開催日 令和7年3月24日(月)
- 報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
- 議案 令和6年度収支予算の補正について
令和7年度事業計画について
令和7年度収支予算について
育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について
評議員の決議の省略に係る決定について

② 評議員会

ア 臨時評議員会（みなし決議）

- ・提案日 令和6年3月21日(木)
- ・決意があったとみなされた日 令和6年4月1日(月)
- ・議案 理事の選任について

イ 定時評議員会

- 開催日 令和6年6月26日(水)
- 報告 令和5年度事業報告について
- 議案 令和5年度決算について
評議員の選任について
理事の選任について
監事の選任について

ウ 臨時評議員会（みなし決議）

- ・提案日 令和7年3月24日(月)
- ・決議があったとみなされた日 令和7年3月27日(木)
- ・議案 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について

③ 監査の実施

- ・監査の実施 令和6年5月23日(木)

(2) 特定資産（生涯学習文化事業資産）の管理及び運用

特定資産（生涯学習文化事業資産）	2,665,361,843 円（平成7年3月31日現在）
平成6年度 特定資産運用益	24,188,587 円
平成6年度 特定資産取崩額	86,994,000 円

【 管理部門 】

≪ 公益目的事業会計 ≫

1 県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業 【公1】

(1) 県民生涯学習活動の場の提供

① 遊学館施設管理運営事業（主な施設利用）

- ・サマーコンサート（ピアノ・ヴァイオリン・マリンバ演奏） 令和6年6月2日（日） 400人
- ・映画「荒野に希望の灯をともす」県内上映会 7月5日（金） 520人
- ・ヤマハエレクトーンフェスティバル トミオカ大会 7月28日（日） 300人
- ・辻音楽教室 オータムコンサート 9月8日（日） 350人
- ・マリンバピアノチューレ 音楽と絵本の贈りもの 11月23日（土）～24日（日） 350人
- ・ジラソーレクリスマスコンサート 12月8日（日） 450人
- ・落語 各公演会（どんぶり亭・噺館 主催）
4月17日 300人／5月8日 324人／5月28日 310人／6月12日 320人
／8月10日 290人／9月17日 320人／11月29日 330人

② 施設利用促進事業

ア 洗心庵

a 「庭園と抹茶を楽しむ会」「お点前体験会」の開催

抹茶を味わい、洗心庵庭園の風情を楽しんでもらう。また、自ら点てたお茶を味わい、日本文化を体感してもらう。（4回開催）

- ・【呈茶】 5月18日（土） 43人 500円
10月27日（日） 41人 500円
- ・【お点前体験・茶会】 6月9日（日） 20人 1,000円
11月30日（土） 28人 600円

b 第11回洗心庵写真コンテスト

- ・募集期間 令和6年11月1日（金）～令和7年1月31日（金）
- ・審査会 令和7年2月12日（水）に入賞者を決定
一般の部 応募総数51点 入賞10点（最優秀賞1点、優秀賞3点、入選6点）
U-18の部 応募総数32点 入賞9点（最優秀賞1点、優秀賞3点、入選5点）

イ 4施設連携事業

複合施設「遊学館」、分館「洗心庵」、山形県郷土館「文翔館」と県立博物館分館「教育資料館」があるエリアは、明治初期に初代県令三島通庸が新しいまちづくりを目指して整備が行われた「歴史文化ゾーン」であることから、その名に相応しい魅力を連携して発信し、利用を促進していく。

a 講演会 「山形のまちとイザベラ・バード

～明治初期の「時間と空間」を共有しよう～

- ・開催日時 令和6年11月16日（土）13:30～15:30
- ・講師 渋谷 光夫 氏
- ・場所 遊学館3階 第1研修室
- ・参加者数 100人

b-1 企画展示 「イザベラ・バードが見た山形のまち山形」特別展示

- ・ 展示期間 令和6年11月3日（日）～24日（日）
 - ・ 場 所 遊学館1階 県立図書館 アートコーナー前・階段下
- b-2 企画展示 「イザベラ・バードが見た山形県師範学校」特別展示

- ・ 展示期間 令和6年11月3日（日）～24日（日）
- ・ 場 所 教育資料館

c スタンプラリー

- ・ 開催期間 令和6年11月3日（日）～24日（日）
- ・ 特 典 スタンプ4つで先着100人に参加記念品（オリジナルクリアファイル）
及び抽選等によりプレゼント

施設名	プレゼント内容	プレゼント数
文翔館	TsukiCafe 利用券（500円券2枚）	10人
	文翔館オリジナルグッズセット	20人
遊学館	遊学館ボックス	20人
	ILBLU 遊学館食事券（1,000円券1枚）	10人
洗心庵	ポストカードセット	15人
教育資料館	オリジナル缶バッジとクリアファイルのセット	20人

d 特別展示 令和6年度文翔館収蔵品展「岩松吉蔵コレクション明治の山形Part1」

- ・ 開催期間 令和6年11月3日（日）～24日（日）
- ・ 場 所 文翔館2階ギャラリー

4 各部門における施設の利用状況(令和6年度)

1 遊学館

(1) 遊学館全体（山形県立図書館を含む）

延べ 270,210 人（前年度 261,980 人）が利用した。開館日数は 312 日（前年度 314 日）、1 日平均では 866 人で、開館以来の入館・利用者数累計は 8,030,958 人である。

(2) 山形県生涯学習センター

延べ 39,583 人（前年度 40,837 人）が利用した。1 日平均では 124 人で、開館以来の利用者数累計は 1,532,090 人である。

(3) 山形県男女共同参画センター「チェリア」

延べ 7,753 人（前年度 7,472 人）が利用した。1 日平均では 24 人で、開館以来の利用者数累計は 382,227 人である。

2 山形県緑町庭園学習文化施設「洗心庵」

延べ 9,581 人（前年度 10,921 人）が利用した。開園日数は 295 日（前年度 297 日）、1 日平均では 33 人で、開園以来の入館・利用者数累計は 131,177 人である。

3 山形県郷土館「文翔館」

延べ 177,542 人（前年度 151,234 人）が利用した。開館日数は 336 日（前年度 336 日）、1 日平均では 528 人で、開館以来の入館・利用者数累計は 4,305,310 人である。

4 山形県総合文化芸術館「やまぎん県民ホール」

延べ 519,957 人（前年度 531,697 人）が利用した。開館日数は 287 日、1 日平均では 1,812 人で、開館以来の入館・利用者数累計は、2,106,345 人である。（「文化機能」のみの数字であり「魅力発信モール」は含まない）

遊学館

生涯学習センター 貸館施設利用者数(令和4年度～令和6年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和4年度	貸館事業	2,018	2,247	2,133	3,622	2,306	2,415	3,288	2,396	2,828	1,152	2,913	2,927	30,245
	自主事業	80	192	284	110	68	76	87	200	105	61	160	101	1,524
	視察見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学習相談	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	計	2,099	2,439	2,417	3,732	2,374	2,492	3,375	2,596	2,933	1,213	3,073	3,028	31,771
令和5年度	貸館事業	2,718	3,622	2,823	3,876	2,408	4,241	3,309	4,519	3,098	2,177	3,065	3,161	39,017
	自主事業	67	165	411	144	95	96	106	211	193	59	93	178	1,818
	視察見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学習相談	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	2,787	3,787	3,234	4,020	2,503	4,337	3,415	4,730	3,291	2,236	3,158	3,339	40,837
令和6年度	貸館事業	2,777	2,812	3,770	3,746	2,602	3,449	3,512	3,634	2,785	2,561	2,407	3,642	37,697
	自主事業	92	157	161	114	132	93	368	273	142	58	131	143	1,864
	視察見学	0	7	0	3	12	0	0	0	0	0	0	0	22
	学習相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,869	2,976	3,931	3,863	2,746	3,542	3,880	3,907	2,927	2,619	2,538	3,785	39,583

男女共同参画センター 貸館施設利用者数(令和4年度～令和6年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和4年度	貸館事業	131	156	275	243	152	225	1,151	596	203	138	171	219	3,660
	交流コーナー	267	199	212	247	278	293	205	256	186	204	184	205	2,736
	見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談	15	15	17	14	12	15	13	13	11	16	10	18	169
	計	413	370	504	504	442	533	1,369	865	400	358	365	442	6,565
令和5年度	貸館事業	170	224	447	243	216	326	1,763	672	238	200	239	213	4,951
	図書コーナー	179	196	200	205	176	188	216	211	195	191	181	219	2,357
	見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談	15	14	13	16	12	14	14	11	16	15	7	17	164
	計	364	434	660	464	404	528	1,993	894	449	406	427	449	7,472
令和6年度	貸館事業	204	253	415	249	159	274	189	1,561	1,178	178	174	219	5,053
	図書コーナー	211	196	195	189	189	267	237	244	155	197	229	224	2,533
	見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談	15	19	16	13	14	15	12	13	15	13	10	12	167
	計	430	468	626	451	362	556	438	1,818	1,348	388	413	455	7,753

遊学館 入場者数・貸館施設利用者数(令和4年度～令和6年度)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	稼働日数	人数	稼働日数	人数	稼働日数	人数
遊学館入場者数	309	237,582	314	261,980	312	270,210
うち 生涯学習センター 貸館施設等利用者数	320	31,771	321	40,837	319	39,583
うち 男女共同参画センター 貸館施設等利用者数	320	6,565	321	7,472	319	7,753

生涯学習センター及び男女共同参画センター利用状況(稼働率)(令和6年度)

	生涯学習センター								男女共同参画センター	
	ホール	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	第5研修室	第6研修室	和室研修室	学習室	託児室
利用日数(日)	153	186	179	186	240	215	260	137	127	85
稼働率(%)	48.0	58.3	56.1	58.3	75.2	67.4	81.5	42.9	39.8	26.6

山形県緑町庭園学習文化施設「洗心庵」 入場者数・貸館施設利用者数(令和4年度～令和6年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和4年度	洗心庵入場者数	935	1,364	735	625	529	507	1,450	1,540	448	460	487	773	9,853
	うち貸館施設利用者数	294	434	418	423	306	304	900	449	283	269	307	290	4,677
	利用件数	(44)	(48)	(49)	(52)	(38)	(39)	(51)	(46)	(36)	(34)	(37)	(40)	(514)
令和5年度	洗心庵入場者数	864	1,041	814	716	633	783	1,840	1,949	534	479	512	756	10,921
	うち貸館施設利用者数	333	394	435	396	287	390	1,023	606	288	278	283	326	5,039
	利用件数	(47)	(47)	(48)	(47)	(39)	(44)	(46)	(57)	(37)	(33)	(33)	(41)	(519)
令和6年度	洗心庵入場者数	677	949	919	760	620	611	1,172	1,684	570	473	428	718	9,581
	うち貸館施設利用者数	348	500	550	489	362	319	533	552	394	316	279	371	5,013
	利用件数	(39)	(47)	(52)	(47)	(48)	(45)	(47)	(57)	(40)	(43)	(38)	(45)	(548)

文翔館 入場者数・議場ホール貸館施設利用者数(令和4年度～令和6年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和4年度	文翔館入場者数	7,573	9,990	9,623	8,557	10,761	15,298	12,633	12,053	7,433	5,337	7,358	10,695	117,311
	うち議場ホール貸館施設利用者数	462	972	1,023	1,421	660	4,690	1,941	1,901	2,248	859	914	1,285	18,376
令和5年度	文翔館入場者数	9,617	14,941	12,122	9,509	20,386	13,824	14,972	15,924	8,546	7,378	11,694	12,321	151,234
	うち議場ホール貸館施設利用者数	1,122	1,940	1,150	6	0	0	7	1,745	1,629	371	985	1,749	10,704
令和6年度	文翔館入場者数	14,017	16,687	16,784	13,688	21,959	17,519	19,604	17,403	9,545	7,128	10,079	13,129	177,542
	うち議場ホール貸館施設利用者数	1,380	1,404	901	875	808	1,141	1,870	1,303	1,517	158	1,126	1,705	14,188

文翔館利用状況(稼働率)(令和6年度)

開館日数計 336日	第1会議室	第2会議室	第1ギャラリー	第2ギャラリー	第3ギャラリー	第4ギャラリー	第5ギャラリー	第6ギャラリー	第7ギャラリー	第8ギャラリー	ホール	中庭
利用日数(日)	160	170	69	77	77	50	139	174	191	132	170	3
稼働率(%)	47.6	50.6	20.5	22.9	22.9	14.9	41.4	51.8	56.8	39.3	50.6	0.9

山形県総合文化芸術館(文化機能)利用者数(令和4年度～令和6年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
令和4年度	41,032	26,419	37,269	49,050	31,481	45,958	56,499	43,538	32,021	27,846	34,423	48,317	473,853
令和5年度	40,299	27,938	42,407	58,599	47,227	48,421	44,624	57,659	35,375	31,782	46,801	50,565	531,697
令和6年度	32,201	35,201	54,966	46,595	52,770	45,329	49,775	43,373	39,647	26,566	32,834	60,700	519,957

5 生涯学習センター建設経緯及び施設の概要

(1) 名 称 山形県生涯学習センター

(2) 所 在 地 山形県山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内（県立図書館と併設）

(3) 遊学館の建設の特徴

① 遊学館の建っているところは、明治12年（1879年）初代県令三島通庸が造った千歳園の一部をなし、その後は知事公舎・公館が建てられた由緒ある土地である。

② 敷地面積9,998㎡のうち、建設面積は4,820㎡と約半分を占め、残りは庭園と緑道等となっている。

③ 建物は地上3階、地下2階、延べ床面積は11,726㎡。

高さをおさえ、横幅に伸びのある安定した親しみやすいシルエットを見せ、淡紫紅色系の磁器質タイルモザイクの外壁面は、四季の色でそれぞれに調和する。

外壁面には花崗岩材でがっしり縁取りされた大きな窓があり、陽光がふんだんに射し入り、深い軒を張り出す銅板ぶきの大屋根は東北一といわれている。

④ 館敷地外週に幅2mの緑道をめぐらし、そこに特注の黄褐色系のインターロッキングブロックを敷き、パーゴラを設けたり、道路中央に植樹したりして、緑間を縫う散策が楽しめるよう配慮している。

⑤ 庭園は、往時の趣を生かすため、ほとんどの樹木は移植し、池は『往時の池』の名残をとどめている。

その池畔には山野草を配するなど、庭園全体として自然な野性的な雰囲気醸している。さらに、西北側は芝草を張って樹陰読書も楽しめるよう配慮している。

⑥ 館の内部は開放的でのびやかな環境づくりに努め、各階いたるところにロビーを配し、交流がなされるよう配慮している。

また、館内を飾る美術工芸品は、郷土出身のすぐれた作家の作品を中心に、文化的な環境を創出している。

⑦ 来館された人々が、和やかで、ゆったりとした雰囲気の中で交流が図られるように、3階までの吹き抜け構造にしている。

(4) 「縣人文庫」の開設について

山形県の四方は山に囲まれ、雪が多く積ります。私達の先人は、この「雪と峠」とたたかい、今日の山形を築きました。また、そのことが実直、勤勉、思索型の県民性をつくったとも言われております。しかし、こうした自然的・地理的条件を克服し、自らの努力によって中央の各界で活躍した先人は決して少なくありません。明治期以降、全国を活躍の分野とした多くの人材が、古里とのかかわりで何を考え、どのように生きたか、それぞれの人間形成の過程を学んでいただくため、展示室が開設されました。

令和2年2月、県立図書館のリニューアルに合わせて、書架の間に展示ケースを組み込み、周遊しながらご覧いただけるよう、生まれ変わりました。（図書館施設）

〔縣人文庫展示者〕

- ・安 達 峰一郎
（明治 2～昭和 9）山辺町
外交官、国際法学者、国際司法裁判所長
- ・阿 部 次 郎
（明治 16～昭和 34）酒田市 旧松山町
哲学者、美学者、評論家
- ・池 田 成 彬
（慶応 3～昭和 25）米沢市
銀行家、三井財閥の指導者
- ・伊 藤 忠 太
（慶応 3～昭和 29）米沢市
建築史家、建築家、文化勲章受章、
文化功労者
- ・大 熊 信 行
（明治 26～昭和 52）米沢市
経済学者、評論家、歌人
- ・小 倉 金之助
（明治 18～昭和 37）酒田市
数学者、数学教育学者
- ・折 下 吉 延
（明治 14～昭和 41）新庄市
造園家
- ・日下部 四郎太
（明治 8～大正 13）山形市
物理学者、
- ・小 松 均
（明治 35～平成元）大石田町
日本画家、文化功労者
- ・斎 藤 茂 吉
（明治 15 ～昭和 28）上山市
歌人、医師、文化勲章受章、文化功労者
- ・相 良 守 峯
（明治 28～平成元）鶴岡市
ドイツ文学者、ゲーテ研究の権威
文化功労者、文化勲章受章
- ・新 海 竹太郎
（慶応 4～昭和 2）山形市
彫刻家
- ・高 橋 里 美
（明治 19～昭和 39）米沢市
哲学者、文化功労者
- ・高 山 樗 牛
（明治 4～明治 35）鶴岡市
文学者、評論家
- ・新 関 良 三
（明治 22～昭和 54）河北町
演劇学者、ドイツ文学者、文化功労者
- ・浜 田 広 介
（明治 26～昭和 48）高畠町
童話作家
- ・平 田 東 助
（嘉永 2～大正 14）米沢市
政治家、産業組合運動の指導者、右大臣、伯爵
- ・平 塚 英 吉
（明治 21～昭和 59）新庄市
農芸化学者、文化功労者
- ・堀 米 庸 三
（大正 2～昭和 50）河北町
西洋史学者、
- ・本 間 久 雄
（明治 19 ～昭和 56）米沢市
文芸評論家、英文学者、日本近代文学研究家
- ・結 城 豊太郎
（明治 10～昭和 26）南陽市
銀行家、財政家
- ・我 妻 栄
（明治 30～昭和 48）米沢市
法律学者、文化功労者、文化勲章受章

（五十音順）

(5) 建設概要

敷地面積	9,998 m ² （知事公舎、知事公舎移転跡地）
建設延面積	11,933 m ² （生涯学習センター4,040 m ² 、県立図書館7,282 m ² 、男女共同参画センター611 m ² ）
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上3階地下2階
総工費	約62億円（当初）、大規模改修工事11.6億円

(6) 施設の概要（R7.4.1 現在）

研修会場	収容人数	主な備品・装置等	主な利用内容
ホール （2 F）	324 人	固定イス・ステージ・スクリーン設備等・音響・照明装置・映写装置	芸術・文化実演・講演・映写・シンポジウム等
第1研修室 （3 F）	105 人	3人用机・イス・白板・演題・プロジェクター機・スライド投影機（2スクリーン）暗幕・放送用施設等・映写装置・ホール中継システム等	講演・講義・映写等
第2研修室 （3 F）	54 人	3人用机・イス・白板・スクリーン設備等	講演・講義等
第3研修室 （3 F）	48 人	3人用机・イス・白板・スクリーン設備等	講演・講義等
第4研修室 （3 F）	24 人	2人用机・イス・白板・スクリーン設備等	ゼミナール研修等
第5研修室 （3 F）	14 人	大型テーブル・イス	ゼミナール研修等
第6研修室 （2 F）	14 人	大型テーブル・イス	ゼミナール研修等
和室研修室 （3 F）	15 人程度	和室用テーブル・茶道用風炉等	多目的研修
ギャラリー （2 F）	約100 m ²	展示ケース・展示パネル板等・照明装置	生涯学習関係作品の展示等

5-1 生涯学習センター分館「洗心庵」の建設経緯及び施設の概要

(1) 名 称 山形県緑町庭園文化学習施設

(2) 所在地 山形県山形市緑町一丁目4番28号

(3) 洗心庵の建設の特徴

山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」は、元(株)山形新聞社社長の故服部敬雄氏の居宅であった土地、建物について、平成17年3月に所有者から寄贈を受け、県が生涯学習センターの分館として再整備した施設である。

この庭園は、赤坂離宮和風別館やホテルニューオータニなどの庭園を作庭した日本を代表する名造園家 岩城亘太郎^{いわきせんたろう}氏が手掛けたもので、北にはアカマツ、南には和風庭園やモミとイチイなど趣を異にする庭が配置されている。また、庭園には、古くは室町時代作とされる石仏などがあり、いつとき、歴史の世界にいざなってくれる。

庭園鑑賞に加え、展覧会、演奏会等の文化芸術活動、生涯学習活動の拠点として利用されるよう整備された。

(4) 建設概要

施工：平成24年8月、開館：平成25年7月16日

敷地面積	2,193.93 m ²
延床面積	240.00 m ²
建物構造	木造平屋建、地上1階
総工費	約1.7億円

(5) 施設の概要

研修会場	収容人数	主な備品・装置等	主な利用内容
多目的ホール	50人	3人用机・イス・白板・スクリーン・プロジェクター	多目的研修
和室研修室	八畳1室	水屋	茶会

Ⅲ 生涯学習部門

(山形県生涯学習センター)

Ⅲ 生涯学習部門 (山形県生涯学習センター)

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023)625 - 6411

F A X (023)625 - 6415

1 概 要

(1) 設置目的（平成2年7月28日開所）

県民の生涯にわたる自主的な学習活動を総合的に支援、助長し、県民一人ひとりの心豊かな生活の創造と地域社会の振興並びに地域の活性化を担う人材の育成を図る。

(2) 基本的機能と役割

本県の生涯学習振興の中核施設として、県民及び県内外の生涯学習関連施設とのネットワークの形成を図る基本的機能を持つとともに、

- ① 講座・研修等各種生涯学習事業の開発と実施
- ② 生涯学習振興に関する調査研究
- ③ 学習情報の整備・提供と相談
- ④ 学習者相互の交流・研鑽・発表に係る機会や場の提供と支援などの役割を担う。

(3) 運営の基本方針

- ① 関係機関と連携し、県民に親しまれる生涯学習センターの運営を図る。
- ② 地域学を推進するとともに、県民が主体的に学ぶ機会を提供する。
- ③ 学習情報の整備・充実を図り県民に提供するとともに、調査研究を行う。
- ④ 主体的な学習活動への支援を行うとともに、地域の指導者等人材の育成を図る。

(4) 主な事業項目

- ① 県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業
- ② 総合的な学習情報の提供事業

2 令和7年度事業計画

《 公益目的事業会計 》

公1：県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業

(1) 学習情報・機会の提供

① 学習情報収集・提供事業

財団ホームページやメールマガジン・SNSによる配信システム（試行）を活用し、より県民ニーズに合わせた新鮮な情報を提供する。

このため、県、市町村、関係機関団体等との連携を一層強化するとともに、より幅広い情報ネットワークの構築に努める。

② 長寿社会づくり推進事業

明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会関連事業を推進するとともに、ホームページを活用し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行う。

③ 「ふるさと塾」推進事業

県から委託を受けて実施する「ふるさと塾」事業の活動に関し、映像や画像を記録し、インターネットを通じて公開していくことにより、将来にわたって地域文化の伝承活動の支援基盤を構築する。

④ 広報紙発行事業

生涯学習センター事業の内容や成果の報告、県内の活動事例の紹介、生涯学習を巡るタイムリーな話題の提供などを通して、県民の生涯学習への理解が深まるよう広報紙を年2回発行する。

⑤ 「山形学」推進事業

山形の特徴や特性を客観的・学際的に捉え、山形に生きることの意義や自らのアイデンティティ、地域づくりを考える学習機会として地域学である「山形学」を推進する。今年度は、令和6年度に引き続き「山形の農業」に光を当て、山形農業の楽しさやおもしろさを再発見し、農業に関心を持つ人々を増やす取組みについて学ぶ。

⑥ 生涯学習支援事業

山形に関する地域学や自治体、各種団体、高等教育機関等が行う、地域の課題解決に資する人材の育成を図るための生涯学習活動に対し助成を行う。また、高校生が行う地域の活性化や地域学の振興に資する課外活動に対しての助成を行う。

ア やまがた地域創生事業

イ 青少年地域学習活動支援事業

ウ 特色ある生涯学習活動支援事業

エ 生涯学習振興大会への助成

⑦ 山形県地域づくり実践交流集会

県内外の地域づくりや地域学を実践している団体や地域づくりに関心のある方が集まり、より一層充実した活動を展開するための契機となるよう、地域づくりや地域学について学び合い交流する機会として開催する。

(2) 生涯学習活動支援者の育成

① 生涯学習関係職員研修事業

市町村生涯学習・社会教育関係職員初任者（経験年数 1 年未満）を対象とした研修として「パワーアップセミナー」を実施する。また、中堅職員（経験年数概ね 3 年程度）を対象としたテーマ型研修として「スキルアップセミナー」を実施する。

② 高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう支援するため、高齢者の生きがいづくりや高齢者自らを生活支援活動に希望して参加する担い手に育成する講座を開催するとともに、生活支援コーディネーター等の資質向上や担当地域での活動の充実を図るための研修を行う。

③ シニア地域実践活動支援事業

県内 9 地区の「山形シルバー観光ガイド」について、その資質向上を図るほか新たなガイドを養成する活動団体を支援する。

(3) 学習成果の活用【再掲】

① 「山形県地域づくり実践交流集会」

地域づくりや地域学についての実践を学び合い交流する機会として開催する。

② 高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

高齢者の生きがいや高齢者自らを生活支援活動に希望して参加する担い手に育成する講座を開催する。

(4) 県民生涯学習活動の場の提供

① 生涯学習センター、分館「洗心庵」、男女共同参画センターの指定管理業務

ア 県民が生涯学習、芸術文化及び男女共同参画を身近に感じ、その活動のために気軽に利用できる環境づくりを行う。

イ 県民の平等な利用の確保に配慮し、「利用しやすい」「また利用したい」と感じてもらえる適正な貸館業務を行う。

ウ ニーズの高い Web 会議等に対応した ICT を活用し、生涯学習センターの利用しやすい環境づくりと県民サービスの向上、男女共同参画センターの利用の PR に一層努めるほか、図書館や公文書センター、大学コンソーシアム等と連携し、本県の生涯学習活動の拠点として「遊学館」のネームバリューを活かした施設の利用促進に取り組む。

② 施設の利用促進事業

ア 分館「洗心庵」は、より多くの県民に親しんでもらえるよう呈茶事業・写真コンテストを行い、知名度向上や利用促進に努める。

イ 複合施設「遊学館」、分館「洗心庵」、県郷土館「文翔館」と県立博物館分館「教育資料館」の 4 施設が連携し、学習環境に優れたエリアとして情報を発信し、利用の促進を図っていく。

また、このエリアが「歴史文化ゾーン」と名付けられていることから、エリア内

の歴史的文化的な資源を発掘、利活用しながら、「歴史文化ゾーン」の名にふさわしいストーリー性を持った魅力を発信していく。

(5) その他生涯学習推進に関する業務

生涯学習事業の企画運営に係る事業

生涯学習センターの事業推進について、県内各層から広く意見を聞き反映するための企画委員会を開催する。

3 令和6年度事業実績

《 公益目的事業 》

1 県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業 【公1】

(1) 生涯学習情報の収集提供

① 学習情報収集・提供事業

情報提供システム「やまがたマナビィn e t」の充実を図りながら、生涯学習情報（講師・指導者、団体・グループ、施設）、講座・イベント情報、総合文化情報等をインターネットで発信。

・登録情報数（令和7年3月31日現在）

団体・グループ情報 276 件、 講師・指導者情報 132 件

・HP アクセス件数（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

総ページビュー数 543,392 件、 講座・イベント情報 13,240 件

② 「ふるさと塾」推進事業

県の「子ども伝承活動 ふるさと塾」事業の活動に関する映像や画像を記録し、インターネットを通じて公開している。

③ 広報紙発行事業

生涯学習活動に対する県民の理解が一層深まるよう、広報紙「生涯学習やまがた」を年3回発行し関係機関に配布。

・令和6年7月発行 VOL.31 特集 学校を核とした地域づくり、地域とともにある学校～学校と地域の連携・協働

・令和6年11月発行 VOL.32 特集 学校を核とした地域づくり、地域とともにある学校～学校と地域の連携・協働

・令和7年3月発行 VOL.33 特集 山形県の社会教育の歴史―青年団の共同学習を通して―

④ 「山形学」推進事業

ア 「山形学」講座の開催

・テーマ 「おいしい山形のルーツを探る」

・受講生数 50 人

・内容 第1回「おいしい山形のルーツを探る～知る～」

令和6年10月19日（土） 会場 遊学館

講師 江頭 宏昌氏(山形大学学術大学院 教授)

石黒 亮氏(東北農林専門職大学 准教授)

コーディネーター 中川 恵氏（「山形学」実行委員）

第2回「おいしい山形のルーツを探る～味わう～」

令和6年11月2日（土）（現地学習）

講師 横尾 友栄氏(有限会社壽屋 代表取締役)

コーディネーター 結城 こずえ氏（「山形学」

実行委員）

第3回「おいしい山形のルーツを探る～つながる～」

令和6年11月30日（日） 会場 遊学館

講師 佐藤 純氏（「山形学」実行委員）

パネリスト

土屋喜久夫氏（寒河江市・四季ふぁーむ）

井上貴利氏・夏氏（鶴岡市・井上農場）

結城こずえ氏（天童市・まるつね果樹園）

牧野聡氏（河北町・かほくイタリア野菜研究会）

小林温氏（高畠町・おきたま興農舎）

コーディネーター 廣瀬隆人氏（「山形学」アドバイザー）

イ 遊学館ブックス」の販売（平成28年度）

年 度	冊数	売上金額	備 考
令和6年度	81 冊	88,330 円	直接販売 40 冊 委託販売 41 冊
合 計	1,345 冊	1,467,411 円	

⑤ 生涯学習支援事業

ア やまがた地域創生事業

- ・申請団体数 28 件／交付決定団体数 21 件／交付決定額 2,667 千円

イ 青少年地域学習活動支援事業

- ・申請団体数 8 件／交付決定団体数 8 件
- ・交付決定額 359 千円

ウ 特色ある生涯学習活動支援事業

- ・山形小説家ライター講座
- ・交付決定額 300 千円

エ その他

- ・生涯学習振興大会助成事業
- ・交付決定額 500 千円

⑥ 山形県地域づくり実践交流集会

- ・テーマ 「民俗芸能に学ぶ地域づくり ～人のつながりのつくり方～」

- ・期 日 令和6年12月8日（日） 会場 遊学館

- ・受講生数 36 人

- ・内 容 第一部【事例提供】

「鮭川歌舞伎の継承と地域づくり」

高橋眞一 氏（鮭川歌舞伎保存会 座長）

黒坂洋平 氏（鮭川歌舞伎保存会 座員・鮭川村教育委員会教育課生涯学習係長）

第二部【トークセッション】「民俗芸能による絆づくり・地域づくりとは？」

- ・コメンテーター： 菊地和博 氏（東北文教大学人間科学部人間関係学科特任教授）

- ・コーディネーター： 一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 廣瀬隆人氏

(2) 生涯学習活動支援者の育成

① 生涯学習関係職員研修の実施

ア パワーアップセミナーの開催（初任者研修）

- ・期日／会場 <村山会場>令和6年5月16日（木）／遊学館／参加者数 52 人

＜庄内会場＞令和6年5月17日（金）／庄内総合支庁／参加者数30人

・内容 ＜講義①＞「生涯学習・社会教育とは」

～生涯学習・社会教育関係職員に求められる役割～

講師 安藤 耕己 氏（国立大学法人山形大学 地域教育文化学部教授）

＜講話＞令和6年度 県生涯学習・社会教育行政施策概要

講師：木村征子氏（山形県教育局生涯教育・学習振興課社会教育専門員）

＜事例提供＞令和5年度「郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業」について

概要説明：小野大輔氏（山形県教育局生涯教育・学習振興課社会教育主査）

事例発表者（村山）：黒沼里美氏（村山教育事務所社会教育課社会教育主事）

梅津恭子氏（置賜教育事務所社会教育課社会教育主事）

事例発表者（庄内）：今田博之氏（最上教育事務所社会教育課社会教育主事）

櫻井孝輔氏（庄内教育事務所社会教育課社会教育主事補）

＜講義&演習＞「社会教育のマネジメントはこうありたい

～LRDCマネジメントサイクルと「熟議」の活用～

講師 皆川 雅仁 氏（秋田県生涯学習センター社会教育主事・秋田大学

非常勤講師（社会教育経営論）

イ スキルアップセミナーの開催（中級者等研修）

・テーマ「防災・減災」

・期日/会場＜庄内会場＞令和6年9月13日（金）／

余目第4まちづくりセンター／参加者数11人

＜村山会場＞令和6年9月20日（金）／

東根市西部防災センター／参加者数11人

・内容＜講義＞「被災地域の救援活動から学ぶ、

今私たちがやれること

～能登半島地震と山形・秋田豪雨の現場から～

＜講座&ワークショップ＞「防災・減災講座・イベントの企画と運営のポイント

「クロスロード（災害対応ゲーム）」「HUG（避難所運営ゲーム）」体験とゲ

ーム実施の可能性を考える」

講師 千川原 公彦 氏（ウェザーハート災害福祉事務所代表）

② 高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

ア 入門講座【生きがい・支え合いフォーラム】

高齢者社会の現状や支え合い活動の必要性、地域住民が主体となる日常生活の様々な生活支援活動について学ぶフォーラムの開催。

・期日/会場/参加者

【村山】令和6年8月31日（土）遊学館（山形市）・オンライン

参加者数 会場28人、 オンライン23人

【庄内】令和6年9月1日（日）子育て交流施設テオトル（三川町）

参加者数 会場37人

・講師 基調講演「シニアが生み出す、三方よし！ウェルビーイングな地域づくり」

藤原佳典氏（東京都健康長寿医療センター研究所副所長）

事例提供「生きがい支え合い交流あふれるまちに福来る！」

堀川敬子氏（逢いの蔵共同代表）

伊藤新一氏（西遊佐地区まちづくりの会会長）

イ 生活支援コーディネータースキルアップ研修

【初任者研修】

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備に関わる生活支援コーディネーターや市町村職員のうち、経験年数が2年以内の初任者を対象に、地域でつながりをつくるための手法や心構え、地域の課題抽出と課題解決等に向けた話し合いの技術等を学ぶ研修会を開催。

・ 期日／会場／参加者

令和6年6月12日（水）遊学館（山形市）

参加者数 20人

・ 講師：廣瀬隆人氏（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

事例提供：小川真実氏（若者の居場所こころいき相談員）

【専門研修】

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備に関わる生活支援コーディネーターや市町村職員のうち、経験年数が概ね3年以上の中堅者を対象に、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備における様々な課題に対して、現場主導で素早く修正を重ねて課題を解決していく力をつけるための研修会および成果報告会を開催。

・ 開催時期 7月～2月／全7回の研修

・ 会場 オンラインほか遊学館（山形市）

・ 参加者数 3市町村（9人）ほか聴講21人・成果報告会の追加参加20人

・ 内容 第1回 令和6年7月23日（火）オンライン

戦略的かつ目標達成を加速するプロセスを学ぶ

第2回 令和6年8月21日（水）遊学館（山形市）

協議体形成とその運営を学び進むべき道のりを描く

第3回 令和6年9月18日（水）オンライン

「ごちゃまぜ」で地域づくりにチャレンジ

第4回 令和6年10月17日（木）オンライン

ニーズと地域資源のマッチング手法を学ぶ

第5回 令和6年11月15日（金）オンライン

生活支援活動ボランティアの育成を学ぶ

第6回 令和6年12月18日（水）オンライン

移動支援の仕組みや手法を学ぶ

成果報告会 令和7年2月19日（水）オンライン

私たちは進むべき道のりをどう描き進んだか

・ 講師 服部真治氏（（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構

政策推進部研究事業担当部長研究部主席研究員）

中村一朗氏（ ” 政策推進部副部長）

中村美那子氏（ ” 政策推進部専門職員）

高橋由和氏（NPO 法人きらりよしじまネットワーク事務局長）

【フォローアップ研修会】

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備に関わる生活支援コーディネーターや市町村職員を対象に、事業や活動の評価・診断手法を学びながら、課題解決のアイデア出しを行い、事業のブラッシュアップにつなげる研修会を開催。

・期日／会場／参加者

令和6年11月21日（木）遊学館（山形市） 参加者 8人

・講師：高橋由和氏（（特非）きらりよしじまネットワーク事務局長）

ウ アドバイザー派遣による伴走型支援事業

介護予防・生活支援に係る課題を抱える市町村に対し、各市町村の課題に応じたアドバイザーを派遣することにより伴走型支援を行う。今年度は鶴岡市及び戸沢村にアドバイザーを派遣。また、昨年度支援を行った尾花沢市と長井市へフォローアップ支援を行う。

【新規支援】

＜鶴岡市＞

第1回 令和6年8月22日（木）にこふる3階栄養指導研修室

第2回 令和6年11月16日（土）鶴岡市第3学区コミュニティセンター

対象者数 鶴岡市地域包括ケア推進課9人

第3回 令和7年2月5日（水）オンライン開催

鶴岡市地域包括ケア推進課・第1層SC・第2層SC

・アドバイザー 服部真治氏（（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構政策推進部研究事業担当部長研究部主席研究員）

＜戸沢村＞

第1回 令和6年11月11日（月）戸沢村役場

対象者：自立型地域ケア会議メンバー・協議体メンバー他21人

第2回 令和7年1月21日（火）オンライン

対象者数 協議体メンバー他12人

第3回 令和7年2月26日（水）

・アドバイザー 服部真治氏

【フォローアップ支援】

＜長井市＞ 令和6年11月28日（木）長井市役所

アドバイザー：高橋由和氏（（特非）きらりよしじまネットワーク事務局長）

対象者数：長井市第1層協議体メンバー16人

＜尾花沢市＞令和6年12月17日（火）尾花沢市老人福祉センター東光館

アドバイザー：高橋由和氏（（特非）きらりよしじまネットワーク事務局長）

対象者数：尾花沢市第1層協議体メンバー18人

③ シニア地域実践活動の支援

県内9地区で活動している「シルバー観光ガイド」への助成

・県内9団体（助成金交付団体6団体）

・担当者会議はオンラインで3月5日（水）開催。

(3) その他、生涯学習推進に関する業務

① 生涯学習事業の企画運営に関する業務

県生涯学習センターの事業推進について、県民各層から広く意見を聞き反映するための企画委員会を開催した。

- ・ 期日／会場 令和7年3月7日（金）／遊学館
- ・ 出席者数：委員6名（うちオンライン参加者2名）
- ・ 内容：令和6年度山形県生涯学習センター事業報告
令和7年度山形県生涯学習センター事業計画
今後の生涯学習のあり方について 山形大学地域教育文化学部
教授 安藤 耕己 氏
山形県生涯学習センター事業に期待すること

IV 文 化 振 興 部 門

(山形県郷土館「文翔館」及び山形県総合文化芸術館)

Ⅳ 文 化 振 興 部 門

(山形県郷土館「文翔館」及び山形県総合文化芸術館)

【山形県郷土館「文翔館」】

〒990-0047

山形市旅籠町三丁目4番51号

T E L (023)635-5500

F A X (023)635-5501

【山形県総合文化芸術館】

〒990-0828

山形市双葉町一丁目2番38号

T E L (023)664-2220

F A X (023)664-2209

1 概 要

(1) 山形県郷土館「文翔館」

① 設置目的

重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」を保存し、公開することにより、県民の郷土への理解に資するとともに、本県文化の振興を図る。また、県政史緑地を多くの方が集い会う広場として開放する。

② 基本的機能と役割

重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」を保存・公開を行うほか、本県文化振興の拠点として、ホール、ギャラリー等の機能や美しく優雅な景観を活用し、芸術文化鑑賞機会の提供、文化活動の活性化を図る。加えて、県内各地における芸術文化活動を一層推進するための拠点施設としての役割を担う。

③ 運営の基本計画

ア ガイドボランティアなどの協力を得ながら、重要な文化遺産として保存しつつ広く公開し、県民の郷土への理解促進に資する。

イ 県民文化活動の場として、ホール、ギャラリー、会議室等を広く県民に提供する。

ウ 文化力の向上を目指す多様な芸術文化事業を実施し、文化活動の拠点施設としての機能を強化する。

④ 主な事業項目

ア 重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」の保存・公開

イ 郷土に関する歴史文化資料の展示及び整備

ウ 新たな県民文化の創造に向けた事業

エ 芸術文化に触れる機会の拡充のための事業

オ 文化振興拠点としての文翔館活性化事業

(2) 山形県総合文化芸術館

① 設置目的

山形県総合文化芸術館は、県内最大の収容力を有する大ホールや県産品を取り扱うショップ等を有する複合文化施設であり（「文化機能」と「魅力発信モール」）、本県の文化芸術活動の拠点、多様な交流及び本県の魅力の発信拠点として、地域活性化に資する。

② 基本的機能と役割

総合文化芸術館（文化機能）については、本県文化振興の拠点として、2001席という東北屈指の大ホール、スタジオ、練習室等が整備され、芸術文化鑑賞機会の提供、県民の文化活動の活性化を図るとともに、県内各地における芸術文化活動施設と連携を図り、本県の拠点施設としての役割を担う。

③ 運営の基本計画

ア 総合文化芸術館（文化機能）の運営については、当財団と公益社団法人山形交響楽協会、サントリーパブリシティサービス株式会社の3団体で構成する共同事業体「みんぐるやまがた」が指定管理者として行う。

イ 当財団が共同事業体の代表団体を担い、県内文化団体や芸術活動グループなどの育成を図る観点から同館の活用を促進するために広報・PR活動を行う。

ウ 主催公演事業やアマチュア団体の公演等の機会を設定し、県民の文化意識の高揚を図る。

④ 主な業務項目

ア 総合文化芸術館の施設及び設備の維持管理に関する業務

イ 総合文化芸術館の文化機能の運営に関する業務

ウ 総合文化芸術館の施設及び設備の使用許可等に関する業務

2 令和7年度事業計画

《 公益目的事業会計 》

公2：県民の文化振興に関する事業

(1) 施設の保存・公開と県民の郷土への理解促進

① 県郷土館管理運営事業

県郷土館及び県政史緑地について、常に良好な状態を保つよう施設及び収蔵品の保存管理、施設及び設備の維持管理、並びに常設展示等の管理を細心の注意を払って適切に行う。さらに、開館30周年記念事業を県と共催で開催する。

② 文翔館街なか賑わい推進事業

地域で取り組んでいる街なか賑わいフェスティバルと連携して事業を実施するとともに、県内の大学や団体等が主催するイベントでの利用を積極的に受け入れることなどにより、中心市街地の賑わいづくりを促進し、来館者の増加を図る。

③ 文翔館収蔵品・企画展

文翔館が所蔵する貴重な資料を広く県民に紹介するとともに、文翔館や郷土にまつわるテーマに基づく企画展を開催する。また、収蔵品・企画展開催中には、ギャラリートークも行い、県民の郷土への理解促進を図る。

(2) 県民文化活動の場の提供

① 県郷土館管理運営事業

県民の文化活動の場として広く親しまれ活用されるよう、適正に貸館運営業務を行うとともに、文化団体・施設等との連携により中心市街地の文化芸術活動の促進を図る。

また、施設の利用促進を図るため、文翔館主催事業（自主事業及び企画事業）で活用するなど文翔館の活性化を推進する。さらに、令和6年度から利用制限を緩和したギャラリー等での展示販売ができる者を県内在住者及び出身者に限定せず、その対象を拡大し利用促進を図る。

② 県総合文化芸術館運営事業

県総合文化芸術館（やまぎん県民ホール）の利用率向上のため、一般県民や県内文化芸術団体等に対して広報・PR活動を積極的に行うとともに、県内の公立文化施設の人材育成、資質の向上を図るため研修会の開催や情報の提供を行う。

(3) 文化力の向上を目指す芸術文化事業の実施

① 文翔館芸術劇場

文翔館議場ホールを会場に、クラシック音楽の公演を実施し、芸術文化の鑑賞機会の拡充を図る。

② 文翔館創作劇場

文翔館議場ホール等を舞台に、県人による創作公演を県芸術文化協会との連携により実施し、芸術文化団体等の創作意欲の高揚と人材の育成を図る。

③ 芸術文化鑑賞普及事業

プロオーケストラと県内中高校生・アマチュア音楽団体との共演、地元声楽家によるオペラなど県民参加によるコンサートを山形交響楽団の協力を得ながら実施し、芸術文化に触れる機会を創出する。

(4) 県民文化活動の拠点施設としての機能強化

文化活動の拠点施設としての機能強化を図るため、次の事業を実施するとともに、文翔館及び県政史緑地を使用して行う青少年の文化活動に対し、「山形県郷土館管理要綱」に基づき使用料の減免を行い支援する。

① 文化団体等連携支援事業

本県の文化水準の維持向上を図るため、本県文化の基盤を支えている県内の中核的な文化施設や芸術文化団体の活動並びに県民芸術祭の開催に対し、県と連携して支援する。

② 新・アート・サポート事業

県民の文化活動活性化のため、県内文化団体が実施する先進的・創造的・モデル的な発表事業、人材育成に寄与する発表事業及び広く県民が参加体験できる発表事業に対し支援する。

③ 文翔館文化活動支援事業

県民の文化活動機会の拡充を図るため、個人・団体が行う文翔館ギャラリーを活用した初期段階の発表事業に対し、利用料金相当額を助成するとともに、ギャラリー等での展示販売ができる予約利用者の対象を広げ、商業利用の拡大を図る。

《 収益事業等会計 》

収 2：文翔館施設の一部維持・管理及び貸与に関する事業

(1) 文翔館施設管理運営事業

県民に広く親しまれ活用されるよう、適正な貸館運営業務を行う。

(2) 文翔館啓発用グッズ販売事業

本県のランドマークである文翔館を広く県内外に周知し、来館者の増加につなげるため、文翔館啓発用グッズを製作し販売する。

(3) 文翔館ウエディングフォト活用事業

「婚礼前撮り写真」撮影を文翔館で行っている業者の広告をHPに掲載し、結婚に向けた気運の醸成、ウエディングフォト撮影の増加を図る。

(4) スタインウェイを弾いてみよう 2025 事業

有料化及び実施回数の拡大を図ることにより、参加機会の増加及び収入増を目指す。

3 令和6年度事業実績

《 公益目的事業 》

1 県民の文化振興【公2】

(1) 施設の保存・公開と県民の郷土への理解促進

① 施設の管理（文翔館）

ア 文翔館入場者数とガイドボランティアによる案内状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：人)

年 度	文翔館入場者数 (議場ホール貸館施設 利用者を除く)	案 内 者 数				案内比率 (%)
		県内	県外	外国	計	
令和6年度	163,354	2,218	14,840	304	17,362	9.7
令和5年度	140,530	2,156	10,516	193	12,865	9.2
令和4年度	98,935	1,152	2,854	93	4,099	4.1

※令和4年度は、当初、新型コロナ感染拡大防止のため、活動を中止していたが、7月5日から活動を再開している。

イ 文翔館時計塔内部見学会（「時の記念日」）

・実施日 令和6年6月8日（土）

内容 ・時計塔内部見学会 参加者数 17人

ウ 文翔館の日記念事業

・実施日 令和6年10月12日（土）

内容 ・文翔館時計塔内部見学会 参加者数 20人

・講演会「切り離された城下町」聴講者数 102人

・文翔館ハロウィンナイト

参加者 49組(子ども 90人 保護者 88人 計 178人)

・東北芸術工科大学実習生による

ワークショップ（暗闇で光る糸かけアートの作成等） 参加者数 70人

・やまがた秋の芸術祭

マーチングバンド・吹奏楽の演奏

出演 山形市立滝山小学校、千歳小学校、南沼原小学校

・明治安田生命健活ブース

(脳の健康チェック・血管年齢・ベジチェック)

・TsukiCafé 文翔館喫茶室限定ドリンク販売

エ ガイドボランティアへの時計塔内部説明会

・実施日 令和6年12月4日（水）、6日（金）、8日（日）

参加者数 計 18人

オ ガイドボランティア作品展

- ・実施日 令和7年2月2日（日）～9日（日）

出展者数 15人 出展品数 74品 来場者数 316人 ガイドボランティア作品展

カ ライトアップの運営

- ・ブルーライトアップ（世界自閉症啓発デー） 令和6年4月2日（火）～8日（月）
- ・ゴールデンウィークライトアップ 令和6年5月5日（日）～6日（月）
- ・薬師町植木市ライトアップ 令和6年5月8日（水）～10日（金）
- ・世界禁煙デーエローライトアップ 令和6年5月31日（金）～6月6日（木）
- ・ホワイトライトアップ（花笠まつり開館時間延長） 令和6年8月4日（日）～14日（水）
- ・オレンジライトアップ（アルツハイマー月間） 令和6年9月18日（水）～24日（火）
- ・ピンクリボンライトアップ（ピンクリボン運動） 令和6年9月28日（土）～10月6日（日）
- ・臓器移植普及推進グリーンライトアップ 令和6年10月14日（月）～20日（日）
- ・世界脳卒中デーライトアップ 令和6年10月14日（月）～20日（日）
- ・世界糖尿病予防デーブルーライトアップ 令和6年11月14日（木）
- ・DV防止パープルライトアップ 令和6年11月15日（金）～24日（日）
- ・クリスマスグリーンライトアップ 令和6年12月20日（金）～25日（水）
- ・大晦日、新年ライトアップ 令和6年12月31日（火）～令和7年1月2日（木）
- ・緑内障グリーンライトアップ 令和7年3月9日（日）～15日（土）
- ・東日本大震災復興祈念ライトアップ 令和7年3月11日（火）

キ 情報の発信

- ・広報紙「文翔館」の発行 VOL.61 令和6年7月発行 2,300部
VOL.62 令和7年3月発行 2,000部
- ・フェイスブック等の運用

フェイスブック等のSNSを活用して、文翔館の旬の情報を発信。

回数 フェイスブック24回、インスタグラム24回、X（旧ツイッター）125回

② 施設の管理（総合文化芸術館）

ア みんなるやまがた運営委員会の開催

令和6年4月9日（火）

令和5年度事業報告案及び決算見込みについて審議。

令和6年7月18日（木）

次期指定管理者公募申請書（7月19日提出）及び令和6年度第一四半期の活動報告（4～6月）について審議。

令和6年10月8日（火）

令和6年度第二四半期の活動報告（7～9月）並びに第2期指定管理の基本的な考え方及び役割分担について審議。

令和6年12月10日（火）

第2期共同事業体協定書（案）について審議。

令和7年2月7日（金）

令和6年度第三四半期の活動報告（10月～12月）と令和6年度決算見込み（案）の情報交換並びに第2期指定管理に向けた基本的な考え方に係る確認書締結及び次期共同事業体協定書（案）について確認。

イ 舞台『さるすべり』 令和6年5月18日（土）

- 主催 みんぐるやまがた／さくらんぼテレビ
 内容 舞台、映画、ドラマ等で活躍する山形市出身の渡辺えりの作・演出・出演作品を上演。 入場者数 1,809 人
- ウ 東北芸術工科大学工芸・テキスタイルコース3年生展
 「GROUND WARE2024」 令和6年6月12日（水）～23日（日）
 主催 東北芸術工科大学／みんぐるやまがた
 内容 東北芸術工科大学と連携し、学生が制作したアート作品をイベント広場及び館内共有スペース等に展示し、学生に作品発表の場を提供すると共に学生と地域を繋ぐ機会とするなど、賑わいを創出。 入場者数 7,297 人
- エ ららら♪クラシックコンサート／ミュージカル・ガラ・コンサート 令和6年6月29日（土）
 主催 みんぐるやまがた／さくらんぼテレビ
 内容 日本を代表するミュージカル界のスターが、山形交響楽団の演奏に乗せてミュージカルのヒットナンバーを歌い上げるガラ・コンサート。入場者数 1,906 人
- オ 緞帳見学会 令和6年8月14日（水）
 主催 みんぐるやまがた
 内容 2020年の開館以来多くの方から好評をいただいている大ホールを、まだ見たことがない方のために無料開放を実施。 参加者数 77 人
- カ やまがたオペラフェスティバル 歌劇「竹取物語」 令和6年12月15日（日）
 主催 みんぐるやまがた／さくらんぼテレビ
 内容 文化庁の助成金を獲得して大規模オペラを共同制作するプロジェクトに参加。山形交響楽団のほか、山形大学の学生を中心とした合唱団や県内の小学生にも出演してもらい山形ならではの公演を実施。 入場者数 1,241 人
- キ やまぎん県民ホールで聴く山形交響楽団特別コンサート 令和7年1月15・16日（水・木）
 主催 みんぐるやまがた
 内容 山形県の伝統技術を集結した「やまぎん県民ホール」に県内の小学生を招待し、東北地方屈指の収容人数を誇る大ホールで「山形交響楽団」の生演奏を体感してもらい質の高い文化芸術鑑賞の機会を提供。 入場者数 17 校 2,170 人
- ク やまぎん県民ホール「舞台のお仕事体験会」 令和7年2月16日（日）
 主催 みんぐるやまがた
 内容 高校生以上を対象として、やまぎん県民ホールの職員がホールを紹介し、普段は立ち入ることのできないエリアを案内し舞台スタッフ指導のもと、実際に音響や照明機材などの操作を体験。 参加者数 16 人
- ケ やまがた文化の回廊フェスティバル 2025 令和7年3月14日（金）～23日（日）
 主催 みんぐるやまがた・山形市民会館管理運営共同事業体・山形市都市振興公社
 内容 地域の団体や施設と連携し文化芸術の力で賑わいを創出することを目的に開催。今年で5回目を迎え40団体が参加し、12会場で20のコンサートやワークショップ等多彩なイベントを開催。 参加者数 50,119 人
- コ 令和6年度第29回山形県トップコンサート 令和7年3月20日（木）
 主催 みんぐるやまがた（令和元年度～）／山形県芸術文化協会
 内容 旧県民会館から続く恒例事業として、令和6年度の音楽部門で優秀な成績を収

めた県内の8団体が一堂に会し、その成果を披露するコンサートを開催。

入場者数 2,180人

サ やまぎん県民ホール オープンハウス 2025

令和7年3月23日(日)

主催 みんながた

内容「やまぎん県民ホールを楽しみつくそう！」をテーマに今年で5回目の施設全体を開放した賑わい創出イベントを実施。ミニコンサートや映画上映など子どもから大人まで一緒に楽しめるイベントを開催。

参加者数 15,520人

③ 文翔館街なか賑わい推進事業等

ア イベントの受け入れ

- ・やまがた花笠食フェスタ 令和6年8月5日(月)～7日(水)
- ・やまがた秋の芸術祭 令和6年10月12日(土)
- ・街なか賑わいフェスティバル 令和6年10月12日(土)
- ・年末年始イルミネーション 令和6年11月17日(日)～令和7年1月10日(金)
- ・山形市旧暦初市 令和7年2月6日(木)～2月7日(金)
- ・城下町やまがた雛めぐり 令和7年2月15日(土)～3月9日(日)
- ・東日本大震災追悼復興祈念キャンドルナイト 令和7年3月11日(火)

④ 博物館としての展示等について

文翔館企画展「やまがたの宝パネル展～無形民俗文化財編～」

- ・期日 令和6年7月2日(火)～21日(日)
- ・会場 文翔館2階ギャラリー 入場者数 2,903人

文翔館収蔵品展「岩松吉蔵コレクション～明治の山形～Part1」

- ・期日 令和6年11月3日(日)～24日(日)
- ・会場 文翔館2階ギャラリー 入場者数 2,414人

文翔館収蔵品展「岩松吉蔵コレクション～明治の山形～Part2」

- ・期日 令和7年3月1日(土)～23日(日)
- ・会場 文翔館2階ギャラリー 入場者数 2,740人

(2) 県民文化活動の場の提供(主なもの)

- ① 青木邦明金属造型展 令和6年4月3日(水)～8日(月)
- ② 水彩画教室作品展 令和6年4月9日(火)～14日(日)
- ③ 第2回ドクトル・タガキと愛犬ペリオのひとりと一匹展
令和6年4月12日(金)～19日(金)
- ④ 彩りの詩、無色の歌(高橋大翔写真展) 令和6年4月27日(土)～5日(日)
- ⑤ 令和6年春及び秋の叙勲・褒章伝達式 令和6年5月8日(水)、11月8日(金)
- ⑥ 山形ジャズサミット in 文翔館 2024 令和6年5月25日(土)
- ⑦ GUERRILLA2 令和6年5月28日(火)～6月4日(火)
- ⑧ 山形西高美術部展 令和6年5月31日(金)～6月2日(日)
- ⑨ 東西断片収集展 令和6年6月10日(月)～12日(水)
- ⑩ 写真展「四季鳥彩」 令和6年6月21日(金)
- ⑪ 山形東高校マンドリン部定期演奏会 令和6年6月30日(日)

- ⑫ 上山明新館高校邦楽部定期演奏会「響」 令和6年7月14日(日)
- ⑬ 第39回成栄書展 令和6年7月25日(木)～28日(日)
- ⑭ 働く女性の写真展 令和6年8月26日(月)～9月1日(日)
- ⑮ 霄友書展 令和6年9月5日(木)～8日(日)
- ⑯ 遊佐刺し子に遊ぶ展示会 令和6年9月13日(金)～16日(月)
- ⑰ 遠藤英夫写真展「やまがたの滝探訪」V01.2 令和6年9月19日(木)～25日(水)
- ⑱ やまがた工芸の会展 令和6年10月14日(月)～20日(日)
- ⑲ 齋藤茂吉文化賞・山形県産業・科学技術賞贈呈式 令和6年11月3日(日)
- ⑳ 山形県出身者新人演奏会オーディション 令和7年2月16日(日)
- ㉑ 日本センチュリー交響楽団×山形交響楽団アンサンブルコンサート 令和7年3月5日(水)
- ㉒ 山形大学医学部ピアノ同好会卒業記念コンサート 令和7年3月16日(日)
- ㉓ 第27回蠅型鋳物創作発表会 令和7年3月19日(水)～23日(日)

(3) 文化力の向上を目指す芸術文化事業の実施

① 芸術文化鑑賞普及事業

- ア 山響ハートフルコンサート in さがえ
令和6年7月26日(金) 19:00
寒河江市市民文化会館 入場者数 466 人
- イ 山響とみんなで創る音楽会 in 庄内町
令和7年2月11日(火・祝) 15:00
庄内町文化創造館響ホール 入場者数 498 人
- ウ やまがたオペラ公演 コジ・ファン・トゥッテ～恋人たちの学校～
令和7年2月15日(土) 15:00
大江町町民ふれあい会館 入場者数 363 人

② 文翔館芸術劇場

- ア ドリーマーズ・サーカス来日公演 202
令和6年10月24日(木) 18:30
入場者数 81 人
- イ The 4 Players Tokyo in 文翔館
令和7年3月15日(土) 14:00
入場者数 141 人

③ 文翔館創作公演

- ・ 演劇 龍伝・小太郎
出演 表現舎刻一刻
令和6年9月1日(日) 14:00 遊学館ホール
入場者数 92 人

(4) 県民文化活動の拠点施設としての機能強化

① 文化団体等連携支援事業の実施

支援団体等	助成金額（単位：千円）
公益財団法人 山形美術館	6,250
公益財団法人 致道博物館	625
公益財団法人 本間美術館	625
公益財団法人 齋藤茂吉記念館	375
公益社団法人 山形交響楽協会	10,000
山形県芸術文化協会（芸文美術館）	1,875
県民芸術祭実行委員会（負担金）	2,000
計 7 件	21,750

② 新アート・サポート事業

- ・応募件数 9 件 ・採択件数 9 件 ・助成実績 9 件 1,571,000 円
- 《助成団体》
- ・山形女流美術・米沢女流作家合同展 山形女流美術・米沢女流作家合同展実行委員会
令和 6 年 6 月 25 日（火）～30 日（日）米沢市民ギャラリー（ナセ BA）入場者数
1,051 人
- ・第 19 回鶴岡市芸術祭参加第 58 回さざ波会公演 さざ波会
令和 6 年 9 月 22 日（日）鶴岡市中央公民館市民ホール 入場者数 130 人
- ・ザ・フラワーデザイナーズ 20 周年記念イベント ザ・フラワーデザイナーズ
令和 6 年 11 月 16 日（土）～17 日（日）文翔館ギャラリー、中庭 入場者数 900 人
- ・山形三曲協会演奏会 山形三曲協会
令和 6 年 10 月 19 日（土）やまぎん県民ホール大ホール 入場者数 650 人
- ・漢劇 WARRIORS2024 公演「Agein and Agein Genjo」漢劇 WARRIORS
令和 6 年 11 月 23 日（土）～24 日（日）山形市民会館大ホール 入場者数 503 人
- ・NMC コンサート vol.6 NMC
令和 6 年 11 月 3 日（日）山形テルサ大ホール 入場者数 250 人
- ・劇団レッサーファーストペンギン 2024 年公演 劇団レッサーファーストペンギン
令和 6 年 8 月 25 日（日）山形市民会館小ホール 入場者数 54 人
- ・山形フィルハーモニー交響楽団第 63 回定期演奏会
令和 6 年 11 月 2 日（土）山形市民会館大ホール 入場者数 874 人
- ・杉島諏訪太鼓保存会結成 40 周年記念公演 杉島諏訪太鼓保存会
令和 6 年 12 月 8 日（日）村山市民会館 入場者数 300 人

③ 文翔館文化活動支援事業

- ・応募件数 4 件 ・採択件数 4 件 ・助成実績 4 件 100,000 円
- 《助成団体及び個人》
- ・第 2 回ドクトル・タガキと愛犬ペリオのひとりと一匹展
事業期間：4 月 12 日（金）～19 日（金） 入場者数：740 人
- ・「GUERRILLA2」

事業期間：5月28日（火）～6月4日（火） 入場者数：1,000人

- ・遊佐刺し子のタペストリーの展示

事業期間：9月13日（金）～16日（月） 入場者数：1200人

- ・遠藤英夫写真展「やまがたの滝探訪 vol.2」

事業期間：9月18日（水）～25日（水） 入場者数：700人

《 収益目的事業 》

2 文翔館オリジナルグッズの製作・販売【収2】

（単位：円）

	年間売上額
6年度	609,850
5年度	502,000
4年度	257,800

3 文翔館ウェディングフォト活用（文翔館 HP 掲載事業者の広告掲載料【収2】

（単位：円）

	年間売上額
6年度	300,000
5年度	310,000

4 スタインウェイを弾いてみよう 2024【収2】

（単位：円）

	年間売上額
6年度	47,000

※令和6年度は、8月、12月、3月の各月3日間実施

第1回… 8月9日（金）～11日（日） 参加者数46人

第2回…12月18日（水）～20日（金） 参加者数30人

第3回…令和7年3月7日（金）～9日（日） 参加者数25人

4 郷土館建設経緯及び施設の概要

(1) 沿革

明治9年に現在の山形県が成立した後、初代県令三島通庸の手によって、明治10年に山形県庁舎が、また、明治16年に県会議事堂が旅籠町に建設されましたが、明治44年5月、山形市北大火により両棟とも焼失してしまいました。ただちに同地で両棟の復興が計画され、大正2年4月に着手、同5年6月に完成したものが、現在の旧県庁舎及び県会議事堂です。設計は、米沢市出身の中條精一郎を顧問として、東京都出身の田原新之助が担当し工事は山形県の直営で行われました。

旧県庁舎及び県会議事堂は、英国近世復興様式を基調とした建物で、両棟は渡り廊下で結ばれています。

旧県庁舎は、レンガ造り3階建で外廻りの壁面は花崗岩石貼りです。昭和50年まで県庁舎として使用されていました。

また、旧県会議事堂は、レンガ造り一部2階建で、当初から公会堂としての性格も併せ持って計画されました。このため、議場の議員席も固定席ではなく、講演会や演奏会等さまざまな催し物に使われていましたが、手狭であったため昭和5年に新議事堂が建設され、その後旧議事堂は事務室に改造されて使用されました。

昭和50年の県庁移転後は、両棟を文化財として保存することとなり、昭和59年12月には国の重要文化財に指定されました。その後、昭和61年から文化庁の補助を受けながら修理工事を進め、平成7年9月、10年にわたる工事が完成しました。

(2) 建造物の概要

① 建造物名称	山形県旧県庁舎及び県会議事堂														
② 指定年月日	昭和59年12月28日（文部省告示第147号）														
③ 指定内容	所在地 山形市旅籠町三丁目4番51号														
	構造 旧県庁舎 煉瓦造、建築面積 1,864.6 m²、3 階建、正面玄関ポーチ、東面昇降口付、スレート葺、正面中央搭屋付、鉄板葺（玄関、中央階段室、南棟及び東棟 3 階各室以外の内装を除く。） 附 棟札 2 枚 大正3年12月7日の記があるもの 人名その他の記があるもの 旧県会議事堂 煉瓦造、建築面積 866.4 m²、1 部 2 階建、スレート及び鉄板葺 附 渡廊下 1 棟 煉瓦及び木造、建築面積 48.2 m²、2 階建、棧瓦葺、工事関係記録 7 冊 <table border="1"> <tr> <td>大正2年度</td><td>県庁舎・県会議事堂建築工事施行伺</td></tr> <tr> <td>大正2年度</td><td>県庁舎・県会議事堂建築関係</td></tr> <tr> <td>大正3年度</td><td>県庁舎・県会議事堂工事施行及び材料供給伺</td></tr> <tr> <td>大正4年度</td><td>県庁舎建築工事施行伺</td></tr> <tr> <td>大正5年度</td><td>県庁舎建築工事施行伺</td></tr> <tr> <td>自大正2年度至大正5年度</td><td>県庁舎県会議事堂建築工事関係</td></tr> <tr> <td>大正6年度</td><td>県庁舎庭園関係 設計図 9 枚</td></tr> </table>	大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築工事施行伺	大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築関係	大正3年度	県庁舎・県会議事堂工事施行及び材料供給伺	大正4年度	県庁舎建築工事施行伺	大正5年度	県庁舎建築工事施行伺	自大正2年度至大正5年度	県庁舎県会議事堂建築工事関係	大正6年度	県庁舎庭園関係 設計図 9 枚
大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築工事施行伺														
大正2年度	県庁舎・県会議事堂建築関係														
大正3年度	県庁舎・県会議事堂工事施行及び材料供給伺														
大正4年度	県庁舎建築工事施行伺														
大正5年度	県庁舎建築工事施行伺														
自大正2年度至大正5年度	県庁舎県会議事堂建築工事関係														
大正6年度	県庁舎庭園関係 設計図 9 枚														
④ 建設時期	大正2年4月7日着工、大正5年6月15日落成														
⑤ 設計者	田原新之助（明治9年3月7日～大正5年8月29日） 東京府荏原郡品川出身。ジョサイヤ・コンドルの門弟として建築術を修業。 山形県工師として設計監督にあたる。他に自治講習所、山形電気社屋、山形東沢小学校等の設計監督をした。 設計顧問 中條精一郎 米沢出身 曾禰・中條建築事務所														

⑥ 創建時工事費	401,194 円（当時米 1 俵 1 円 20 銭程度） 山形県の直営工事として施工されたが、工事に携わった人々は、尾世川吉次郎など東京の業者が中心で、一部県内の業者が加わった。これは、当時これほどの洋風建築が県内になかったので、中央の技術を導入する必要があったからとされている。														
⑦ 建築様式	旧県庁舎は「英国近世復興様式」を基調として計画された煉瓦造 3 階建て、外観表面を石貼とし、正面を半地下式にして、2 階をグランドフロア風にみせ、中央には車寄を設けている。平面は口の字形で中庭をもち、正面中央は高く時計塔を設けている。屋根は天然スレート材、要所には円形のドーマーウィンドウを開けている。 内部は、主要な部屋が 3 階にあり、正庁、貴賓室、知事室、高等官食堂、内務部長室などを配している。 旧県会議事堂は、県庁舎の西に並び渡り廊下で接続している。煉瓦造一部 2 階建て、石階段、外壁腰部や柱形、軒及びパラペットを石造とした外観をもつ。 正面に議長室や執務室などを配した 2 階を設け、その背後に平屋の議事棟を接続させている。屋根はこれも天然スレート葺で、正面南棟には円形の、議場棟には角形のドーマーウィンドウを開けている。 この二つの建築は、『明治以来の様式建築の中でもその正統を継いだ手堅い作品で、その中に新しい意匠を取り入れはじめた大正初期の煉瓦造公共建築として数少ない遺構』とされている。														
⑧ 使用材料	落成式時の資料「山形懸廳舎・山形懸會議事堂建築工事一斑」によると、工事に使用した主な建築材料は以下のとおりです。 <table border="1"> <tr> <td>煉瓦</td><td>2,970,543 本（東京産）</td></tr> <tr> <td>花崗岩</td><td>40,718 切（東置賜郡中川村、金山村、現南陽市釜渡戸）</td></tr> <tr> <td>木材</td><td>5,650 尺（松：最上郡新庄町産、杉：西村山郡本道寺産、現西川町本道寺）</td></tr> <tr> <td>磐城セメント</td><td>5,353 樽</td></tr> <tr> <td>スレート</td><td>150,801 枚（現宮城県雄勝町明神山）</td></tr> <tr> <td>銅板</td><td>26,400 m²尺</td></tr> <tr> <td>鉄鋼材</td><td>16,500 貫</td></tr> </table>	煉瓦	2,970,543 本（東京産）	花崗岩	40,718 切（東置賜郡中川村、金山村、現南陽市釜渡戸）	木材	5,650 尺（松：最上郡新庄町産、杉：西村山郡本道寺産、現西川町本道寺）	磐城セメント	5,353 樽	スレート	150,801 枚（現宮城県雄勝町明神山）	銅板	26,400 m ² 尺	鉄鋼材	16,500 貫
煉瓦	2,970,543 本（東京産）														
花崗岩	40,718 切（東置賜郡中川村、金山村、現南陽市釜渡戸）														
木材	5,650 尺（松：最上郡新庄町産、杉：西村山郡本道寺産、現西川町本道寺）														
磐城セメント	5,353 樽														
スレート	150,801 枚（現宮城県雄勝町明神山）														
銅板	26,400 m ² 尺														
鉄鋼材	16,500 貫														

(3) 修理工事の概要

工事は、建築当初の復原を目指して、あわせて必要な構造補強や活用のための新たな設備工事等を実施しました。事業は、設計監理を財団法人文化財建造物保存技術協会に委託して、山形県の事業として行いました。修理工事の概要は次のとおりです。

- ① 解体範囲を最小限にとどめ、極力在来材料を使用しながら、従来の工法で施工して創建当時の姿の復原を目指しています。
- ② 構造補強のため、旧県庁舎では、小屋組の鉄骨水平トラスの架設や煉瓦壁頂部からの鉄筋の挿入などを行ったほか、旧議事堂では議場棟の東・西煉瓦壁の外部に鉄骨造のバットレスを設けるなどの対策を講じています。施工にあたっては、できるだけ内装に影響を与えないように配慮しています。
- ③ 活用のために、新たに冷暖房設備、エレベーター、身障者用の便所を設置しました。
- ④ 「正庁」、「貴賓室」、「知事室」、「内務部長室」等の天井を漆喰飾天井に復原したほか、カーテン、壁紙、シャンデリア、絨毯など、できる限り復原を目指しました。
- ⑤ 床材では、日本では既に製造されていないリノリウムを使用して復原に努めています。（議場など）
- ⑥ 屋根は当時と同じスレート葺きとし、時計塔の銅板葺きなどを再現しました。
- ⑦ 議場では美しいヴォールト天井や正面出入り口上のバルコニーなどの意匠を復原しました。

(4) 施設の活用

山形県郷土館（文翔館）は、「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」を貴重な文化遺産として保存公開するとともに、県民の郷土への理解を深め、また本県文化の振興を図るための施設として設置されました。

このため、郷土についての常設展示コーナー、映像ホールなど、新たな機能を備えた多目的な文化施設となっています。

また、ギャラリー、会議室、ホールとして利用できるスペースも設け、県民の文化活動のステージを提供しています。

常 設 展 示

コーナー名称	展示の具体的な内容
県政の歩み	歴代知事の紹介と三島通庸に関する資料の展示
街並探訪	旧県庁舎落成（大正5年）当時の街並の復原 県都山形市の都市の変遷をたどる資料の展示
復原の記録	重要文化財山形県旧県庁舎及び県会議事堂の修理復原工事にかかる記録、当時の建築部材の展示
記念碑の回廊	明治以降を5つの時代区分し、各時代の人々の暮らしが浮き彫りになるよう、風俗や流行など身近な話題にスポットをあてた展示 ① 明治維新～明治中期 ② 明治中期～大正 ③ 昭和戦前 ④ 昭和戦後～昭和30年代前半 ⑤ 昭和30年代後半～
最上川は語る	最上川を軸として、県内4地域の風土、文化等を紹介する展示
やまがたの文学	山形ゆかりの著名な作家・文学者を紹介
県議会の歩み	歴代議長の紹介と議会の仕組み等の展示

施 設 の 概 要

貸室	定員	主な備品等	主な装置等	主な利用内容
第一会議室(3F)	24	3人用机、椅子、 白板	スライド映写機	研修会、趣味の会、 会議、各種会合等
第二会議室(3F)	24	3人用机、椅子、 白板		
ギャラリー1	小	展示台 展示ケース 展示用パネル ピクチャーハンガー セット 机 いす	プロジェクター	絵画、書画、写真、 花等各種展示
ギャラリー2	中		携帯用ビデオカ メラ	
ギャラリー3	大		モニターテレビ	
ギャラリー4	中			
ギャラリー5	中			
ギャラリー6	大			
ギャラリー7	小			
ギャラリー8	中			
議場ホール	250	ピアノ、演壇、指 揮台、譜面台、テ ーブル、椅子	音響装置、照明 装置、反響板、 組ステージ	コンサート、リサイ タル、講演会等
中庭		机、椅子		コンサート、講演 会、各種展示等

重要文化財「山形県旧県庁舎及び県会議事堂」の復原にかかる主な経過

1876	(明治 9)	・ 8	山形・置賜・鶴岡の 3 県を合併し、山形県とする
1877	(明治 10)	・ 11	初代県庁舎落成
1883	(明治 16)	・ 5	初代県会議事堂落成
1911	(明治 44)	・ 5	山形市北大火（県庁舎及び県会議事堂焼失）
1916	(大正 5)	・ 6	2 代県庁舎、県会議事堂落成
1930	(昭和 5)	・ 10	3 代県会議事堂落成
1973	(昭和 48)	・ 3	県庁舎跡地利用懇談会の設置（会長：副知事）
1975	(昭和 50)	・ 9	3 代県庁舎、4 代県議会議事堂開庁
1976	(昭和 51)	・ 6	県庁舎跡地利用懇談会で山形県歴史資料館（仮称）の設置を決定
1978	(昭和 53)	・ 3	旧県庁舎が県指定有形文化財に指定される
1979	(昭和 54)	・ 6	山形県歴史資料館設立委員会の設置（会長：副知事）
1980	(昭和 55)	・ 3	山形県歴史資料館設立委員会で計画決定 ① 名称は山形県郷土館が望ましい ② 展示計画として、 ア 専門的学術的なものより、子供から老人まで気軽に利用し、郷土を理解できるもの イ 山形県の過去をみつめ、未来の山形県を描くことができるもの ウ 実物、VTR、パネル、写真等を展示し、体験を通して興味と関心を高めるもの
1982	(昭和 57)	・ 9	山形県郷土館（仮称）基本構想検討委員会の設置
1983	(昭和 58)	・ 3	山形県郷土館（仮称）基本構想検討委員会が「山形県郷土館基本構想」を決定 ①名 称 山形県郷土館 ②基本テーマ やまがたの歩みを振り返り、明日の山形を考える ③展示計画 山形県の歩み、自然、風土、ひと、交通、産業、未来の山形 ④機 能 郷土、地域文化資料のネットワーク化、情報センター
1984	(昭和 59)	・ 12	旧県庁舎及び県会議事堂が国の重要文化財に指定される
1986	(昭和 61)	・ 7	旧県会議事堂の半解体調査開始
1987	(昭和 62)	・ 6	山形県郷土館展示専門委員会の設置
1987	(昭和 62)	・ 8	旧議事堂の現状変更許可（復原方針の決定）
1988	(昭和 63)	・ 2	旧県庁舎の半版解体調査開始
1990	(平成 2)	・ 4	旧県庁舎の現状変更許可（復原方針の決定）
1990	(平成 2)	・ 9	旧県会議事堂の修理工事完成
1993	(平成 5)	・ 9	山形県郷土館（仮称）展示基本設計
1994	(平成 6)	・ 2	山形県郷土館（仮称）展示実施設計
1994	(平成 6)	・ 6	山形県郷土館展示委員会の設置
1995	(平成 7)	・ 7	山形県郷土館条例公布
1995	(平成 7)	・ 9	山形県郷土館の愛称を「文翔館」に決定（同時にシンボルマークも決定） 旧県庁舎及び県会議事堂修理工事、展示工事完成
1995	(平成 7)	・ 10	山形県郷土館開館

V 男 女 共 同 参 画 部 門

(山形県男女共同参画センター「チェリア」)

V 男 女 共 同 参 画 部 門

(山形県男女共同参画センター「チェリア」)

〒990-0041

山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

T E L (023) 629-7751

(023) 629-8007※相談専用

F A X (023) 629-7752

1 概 要

(1) 設 置 目 的

男女共同参画社会の形成の促進に関する活動を総合的に支援する。

(2) 基本的機能と役割

男女が性別にかかわらず個人として尊重され、自らの意思と選択によってのびやかに生きることができる社会、また、男女が力を合わせて地域の未来を創り出していく社会づくりをめざし、男女共同参画に関する県民の意識の啓発や県民の自主的な取り組みについての支援等の拠点としての役割を担う。

(3) 運営の基本方針

- ① 男女共同参画の推進拠点として、世代・性別を超えて多様な人々が利用しやすい施設となるよう努める。
- ② 男女共同参画の実践の取組みを拡大するため、情報の受発信基地としての機能の拡充や、女性団体等とのネットワークづくり等により、拠点施設としての機能を強化する。
- ③ 女性が様々な分野にチャレンジすることを積極的に支援するとともに、各地域において男女共同参画の実践を先導できる女性リーダーを養成する。

(4) 主な事業項目

- ① 県民の男女共同参画に関する意識改革
- ② 地域における身近な男女共同参画の推進
- ③ ワークライフバランス及び女性の活躍推進
- ④ 男女共同参画に関する相談・支援
- ⑤ その他男女共同参画に関する業務

2 令和7年度事業計画

《 公益目的事業会計 》

公3：男女共同参画の推進に関する事業

(1) 県民の男女共同参画に関する意識改革

① 学習・研修・普及啓発事業

ア 県民企画事業

団体・グループなどが自ら企画、実施する各種講座、調査研究等の優れた企画に対して助成し、県民参加の拡大と男女共同参画の普及を図る。

イ 男女共同参画週間記念事業

6月23日～29日の記念週間に、男女共同参画社会づくりを進めるための啓発事業を県・市町村、女性団体等と協力して各地域で実施する。

ウ 中学・高校教育男女共同参画学習推進事業

中学生を対象に、男女共同参画について考えるためのリーフレットを作成し配布するとともに、同センターに来館する中学・高校生等向けに対面による意識啓発を実施する。

エ DV防止普及啓発事業

DV防止の意識啓発のため、パネル展示、パープルリボンの配布及びDV防止講座の開催等を行う。

オ 地域防災女性参画普及推進事業

男女共同参画の視点を取り入れた地域防災向上に向け、地域防災の女性リーダー養成のセミナーを開催しあわせて啓発等を実施する。

② 情報収集・提供事業

ア 学習支援図書等整備事業

男女共同参画に関する図書やDVD等の充実を図る。また県内外の男女共同参画センター、活動団体・機関等の資料について積極的に収集し、県民に提供する。

イ 広報誌「チェリア」の発行

男女共同参画センターの事業や男女共同参画に関する話題を広く周知するため、チェリア広報員の協力を得ながら、広報誌「チェリア」を発行する。

ウ ラジオ広報事業

ラジオを活用して、男女共同参画の普及啓発を行う。

エ ホームページやSNSによる情報提供

ホームページやSNSにより事業等についての広報や男女共同参画関連の情報提供を行うとともに、女性の活躍状況をチャレンジモデル事例として掲載し、女性のチャレンジの一層の充実を図る。

(2) 地域における身近な男女共同参画の推進

① 地域連携強化事業

ア 男女共同参画連携会議

県内の各市町村・総合支庁と連携を図りながら、県とともに地域での男女共同参画の取り組みの拡大と各種施策・事業の効果的な展開を図る。

イ 地域男女共同参画ネットワーク活動支援事業

県内4ブロックに形成された男女共同参画地域ネットワークの自立的活動の活性化を図るため、研修会やイベントへの支援を行い、新たな参加者の拡大を図る。

ウ 男女共同参画地域講座開催支援事業

市町村を中心とする各種団体等で構成する実行委員会主催の各種講座開催や男女共同参画推進員の出前講座派遣等により地域での普及啓発の促進を図る。

② 団体活動支援・交流事業

ア 団体・グループ活動活性化事業

団体・グループ等が実施する男女共同参画に関する研修等に対して支援するとともに、会報等の作成のために印刷室を提供するなどして活動の活性化を図る。

イ 男女共同参画フェスティバル（チェリアフェスティバル）の開催

男女共同参画を進めているチェリア登録団体・グループの活動発表や、講演会等団体の活動の活性化と県民との交流の推進を図る。

(3) ワークライフバランス及び女性の活躍推進

① 女性の人材育成事業

企業や地域における女性の活躍推進の人材発掘・育成の拠点として、男女共同参画を推進する女性リーダーの育成を図るとともに、育成した人材のネットワーク化や講師等としての派遣に取り組む。

ア 「チェリア塾」の開催

男女共同参画の基礎的知識を学ぶ基本コース、基本コース修了者を対象に実践力を習得する実践コース、修了生を講師として実践活用を図るための専門コースを開講する。

イ 「やまがた女性キャリアアップセミナー」の開催

企業で働く女性を対象に、職場で活躍するために必要な様々な能力を養成する講座を開講する。

② 男性の意識啓発事業

ア 男性セミナーの開催

男性の家事・育児・介護等への参画を促進するため、男性を対象とした男女共同参画セミナーを開催する。

③ 次世代人材育成事業（ユースリーダー事業）

県内の大学生等（主に県内出身者）を対象に、次世代の男女共同参画リーダーを養成する講座を開催する。この講座を受講した大学生等が実践演習の場として高校生向けに男女共同参画に関する出前講座を実施する。ひいては、この出前講座により、高校生の男女共同参画の意識啓発も期待できるものである。

(4) 男女共同参画に関する相談・支援

① 相談事業

ア 相談業務

相談員による一般相談（電話・面接）、男性相談員による男性専用の電話相談、弁護士、臨床心理士による専門相談（法律相談、こころの相談）を実施する。

また、性的マイノリティ当事者の方やその家族、学校や職場等で当事者に接する方が抱えている不安や悩みに対応する専門家の相談を実施する。

イ 相談機関研修会の開催

相談機関の初任者・実務者を対象とした研修会を開催する。

(5) その他男女共同参画に関する業務

① 調査・研究事業

県内の団体・グループ等が行う男女共同参画に関する調査・研究活動の支援、指導助言を行う。新たに、県内の民間専門機関として県内事業所等に対し、出前講座等を活用して男女共同参画の積極的な意識啓発の取組みを試行しながらそのあり方を検討する。

② 管理運営事業

ア 団体・グループ活動室、託児室の利用促進

県民の男女共同参画活動の場として提供するため、適正な施設管理を行う。

イ 男女共同参画センター企画運営委員会の運営

県民の利用しやすい施設運営を目指して、事業計画や運営について協議を行う。また、センターで開催する塾・セミナー等でのアンケートを活用し事業の企画等に生かす。

ウ 県多様性・女性若者活躍課との連絡調整

県多様性・女性若者活躍課と定期的な報告協議を行い、連絡調整を図る。

3 令和6年度事業実績

《 公益目的事業 》

1 男女共同参画社会の形成促進の支援に関する事業【公3】

(1) 県民の男女共同参画に関する意識改革

① 学習・研修・普及啓発事業

ア 県民企画事業

団体・グループ等が自ら企画・実施する各種講座、調査研究等の優れた企画に対して助成し、県民参加の拡大と男女共同参画の普及を図った。

- ・応募団体数：2団体
- ・プレゼンテーション、審査会（令和6年6月15日（土））
- ・採択団体数：2団体

イ 男女共同参画週間記念事業（令和6年6月23日（日）～29日（土））

- a 男女共同参画週間パネル展示（遊学館2階ギャラリー）
 - ・期日：令和6年6月21日（金）～29日（土）
- b 図書館との連携展示（男女共同参画に関する図書展示、ポスター展示：図書館1階）
 - ・期日：令和6年6月25日（火）～29日（土）
- c ラジオキャンペーン
 - ・山形放送 令和6年度男女共同参画週間 ラジオカー・スタジオキャンペーン
 - ・ラジオモンスター 令和6年度男女共同参画週間 CMスポットキャンペーン
- d 県、市町村におけるパネル展示（センターから貸出した市町村等）
場所：遊学館、県庁、上山市、村山市、東根市、山辺町、中山町、南陽市、酒田市、最上総合支庁、庄内総合支庁

ウ 中学・高校教育男女共同参画学習推進事業

- a 中学生の男女共同参画に関する意識醸成のため、「男女共同参画学習リーフレット」を作成・配布（11,000部）した。
配布先：県内中学校98校（1学年生）、特別支援学校（1学年生）
- b 県立寒河江高校の探究学習での「LGBTの理解を世に広めるには」に関する質問についてジェンダーやLGBTの問題の概要や国・県の男女共同参画センターの取組み等を説明した。

エ DV防止普及啓発事業（6年11月12日（火）～25日（月） 女性に対する暴力をなくす運動）

a DV防止講座の開催

テーマ：「DVはなぜ起こるのか ～社会問題として見るDV～」

開催日：令和6年12月6日（金） 会場：遊学館 受講者数 27人

講師：永田 悠芽 氏（上町カウンセリングオフィス 臨床心理士）

b ラジオキャンペーン

ラジオモンスター 令和6年度DV防止普及啓発週間CMスポットキャンペーン

c 県、市町村におけるパネル展示（センターから貸出した市町村等）

場所：遊学館、県庁、米沢市、酒田市、上山市、天童市、南陽市

d ポスターの掲示、パープルリボンの着用（県、市町村へ配布し着用を働きかけ）

・配布先：県、各市町村

e パープルライトアップ（文翔館、寒河江市役所、上山城、旧米沢高等工業学校本館、荘銀タクト鶴岡、日和山公園六角灯台、高島町文化ホール「まほら」周辺、川西町役場）

② 情報収集・提供事業

ア 学習支援図書等整備事業

男女共同参画に関する図書・ビデオ・パネル・資料等の収集と情報検索用パソコンを配置し、閲覧及び貸出を通して県民の学習への支援を行った。

・所蔵状況 図書数 4,121 冊 ビデオ・DVD 379 本

・貸出状況 図書数 57 冊 ビデオ・DVD 3 本

イ 広報誌「チェリア」の発行

・年3回発行（9月、12月、3月） ・発行部数各4,000部

ウ ラジオ広報事業

・山形放送 令和6年度男女共同参画週間 ラジオカー・スタジオキャンペーン【再掲】

・ラジオモンスター 令和6年度男女共同参画週間 CMスポットキャンペーン【再掲】

エ ホームページによる情報提供

・ホームページにより、チェリア事業等の広報

・男女共同参画の視点から県内で活躍する方を紹介する「チャレンジ応援サイトやまがた」で8名を紹介

(2) 地域における身近な男女共同参画の推進

① 地域連携強化事業

ア 男女共同参画連携会議の開催

県・各市町村・男女共同参画施設・県男女共同参画推進員等で構成する男女共同参画連携会議を、全県一斉のオンライン会議により開催。総合支庁単位でのグループ情報・意見交換等も行なうなど、地域での取組みの拡大と各種施策・事業の効果的な展開を図った。

開催日：令和6年4月25日（木） 出席者数 57人

イ 地域男女共同参画ネットワーク活動支援事業

a 村山地域

事業名：講話『男女共同参画基本法』制定25周年を振り返って

～変わったこと/変わらなかったこと～

団体名：チェリア塾ネットワーク/ちえりっぱ(女性＝健康 Yamagata)

開催日：令和6年9月7日（土）

会場：山形市遊学館 第3研修室 参加者数 25人

講師：高木 直氏（山形大学名誉教授） 齋藤 由美子氏（東北文教大学非常勤講師）

b 庄内地域

事業名：「プチみんなの保健室 2025」（災害時における新しい生理用品の展示・紹介など）

団体名：庄内ウィメンズパーク

開催日：令和7年2月22日（土） 会場：生活協同組合共立社 鶴岡協同の家

参加者数 19人

ウ 男女共同参画地域講座開催支援事業

置賜地域講座：川西町

開催日：令和7年2月19日（水）

会 場：川西町役場 大会議室 参加者数：60人

講座名：「地域と行政が避難生活における住民の命と健康、尊厳を守るには
～高齢者・障害者・子ども・女性などの視点から～

講 師：浅野幸子氏（減災と男女共同参画 研修推進センター共同代表）

エ 山形県男女共同参画推進員出前講座 推進員派遣回数 12件

講師依頼先：最上総合支庁子ども家庭支援課（2件）、

地域づくり応援団キラッと0～RA☆DA、長井・西置賜地方民児協連絡会、
鶴田市立湯田川温泉リハビリテーション病院、ちえりっぼ、山辺町政策推進課、
川西町地域づくり連絡協議会、山形県建設技術センター、
酒田河川国道事務所、山形県立中央高等学校、山形地方検察庁

② 団体活動支援・交流事業

ア 団体・グループ活動活性化事業

a チェリア登録団体ネットワーク会議の開催

b 男女共同参画学習会等支援事業助成金

団体が実施する講演会等の講師派遣経費に対する助成 4団体

c 印刷室の利用貸出

イ 男女共同参画フェスティバル（チェリアフェスティバル山形2024）の開催

山形県内で活動する団体・グループの活動発表と県民との交流を通じ、男女共同参画社会
づくりに関する理解の促進と気運の醸成を図った。

・実行委員会の開催 4回

ウ 全国女性会館協議会第68回全国大会

全国の男女共同参画センターなどを会員とする特定非営利活動法人全国女性会館協議会
の第68回全国大会を、同協議会、チェリアフェスティバル山形2024実行委員会、山形県
及び山形県生涯学習文化財団が主催し本県で開催した。同大会は男女共同参画フェスティ
バル（チェリアフェスティバル山形2024）と合同で開催。

・実行委員会の開催 4回

エ 全国女性会館協議会第68回全国 in 山形2024&チェリアフェスティバル山形2024
の開催内容

令和6年11月9日（土）～10日（日）（一部展示は11月16日（土）まで）

・テーマ：「認め合い支え合い ともに歩もう多様性社会」

・参加者数：1,250人

・基調講演：「地域経済と女性～若年女性の人口流出をどう止めるか」

講師：林 伴子氏（内閣府政策統括官）

・パネルディスカッション「女性が暮らしやすく働きやすい地域とは？」

パネリスト：能條桃子氏、堀江龍弘氏、日下部優佳氏、中田歌穂氏

・分科会

分科会1「ジェンダー視点からみた地方若者の生きづらさとは？」

分科会2「みんなの意識にジェンダーの視点を～ジェンダーカードの可能性～」

- 分科会3「防災・減災とジェンダー ～男女共同参画センターで何ができるのか～」
- ・オープニングセレモニー（山形大学花笠サークル「四面楚歌」による花笠踊り）
 - ・ワークショップ（7団体）、県民交流コーナー（5団体）、展示発表（14団体）

(3) ワークライフバランス及び女性の活躍推進

① 女性の人材育成事業

ア 「チェリア塾」の開催

a 基本コース（最上地域）

男女共同参画に関する基本的な知識と考え方の習得並びに受講生同士のネットワーク形成を目的に、最上地域を会場に開催。

・第1回 令和6年6月29日（土）

会場：新庄市雪の里情報館 受講者数：11人

「モヤモヤのもとを知る ～ジェンダーと人権～」

講師：伊藤真知子氏（山形県男女共同参画センター館長）

ファシリテーター もがみチェリアの会所属

阿部和恵氏、加藤江利子氏、工藤恵子氏、

坂本静香氏、布宮千夏氏、矢作めぐみ氏

・第2回 令和6年8月31日（土）

会場：新庄市雪の里情報館 受講者数：7人

「5分でコミュニケーション力UP～3つの「きく」を体感～」

講師：carriere×mikke!キャリアカウンセラー浅野えみ氏

ファシリテーター もがみチェリアの会所属

阿部和恵氏、工藤恵子氏、坂本静香氏、高橋道子氏、土田千聖氏、布宮千夏氏

・第3回 令和6年9月21日（土） 会場：新庄市雪の里情報館 受講者数：6人

「新しい自分への出発 ～過去・現在を振り返る～」

講師：PresentTime 塩野貴美氏

ファシリテーター もがみチェリアの会所属 阿部和恵氏、加藤江利子氏、

工藤恵子氏、坂本静香氏、高橋道子氏、土田千聖氏、布宮千夏氏

・第4回 令和6年10月12日（土） 会場：新庄市雪の里情報館 受講者数：7人

「“SOUD カード” を体験してみよう！！～私たちが作りたい私たちの未来～」

講師：青森大学社会学部教授 佐藤 淳氏

ファシリテーター もがみチェリアの会所属 阿部和恵氏、加藤江利子氏、

坂本静香氏、高橋道子氏、土田千聖氏、布宮千夏氏

・第5回 令和6年11月16日（土） 会場：新庄市雪の里情報館 受講者数：9人

「今日はゴールをスタートに変える日～ふりかえりと次のステップへの踏み出し～」

講師：廣瀬隆人氏（一般社団法人 とちぎ市民協働研究会代表理事）

ファシリテーター もがみチェリアの会所属 加藤江利子氏、坂本静香氏、

高橋道子氏、土田千聖氏、布宮千夏氏

b 実践コース（置賜地域）

昨年度の基本コース修了生を対象に、実践的な力量を形成し、事業を進める自信とネッ

トワークを深めるために、昨年度基本コースを開催した置賜地域で開催。

・対象者：前年度基本コース（置賜地域）の修了生等 ・会場：スタジオ八百萬

・受講者数：4人

・第1回 令和6年5月25日（土）会場：スタジオ八百萬 受講者数：4人

「基本コースをふりかえる」「実践コースの概要を理解する」

講師：廣瀬隆人氏（一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事）

ファシリテーター：チェリア塾ネットワーク置賜所属

五十嵐由美子氏、井上恭子氏、吉原ゆみ子氏

・第2回 令和6年6月22日（土）

会場：米沢市すこやかセンター ・受講者数：5人

「毎日の暮らしが楽しく快適になる片付け方法」

ゲスト：(株)武蔵屋 専務 柘植純子氏

「最近多い消費者トラブル」

ゲスト：置賜消費生活センター 堀野結太氏

講義及びふりかえり：廣瀬隆人氏

（一般社団法人 とちぎ市民協働研究会代表理事）

ファシリテーター：チェリア塾ネットワーク置賜所属

五十嵐由美子氏、井上恭子氏、吉原ゆみ子氏

・第3回 令和6年7月21日（日）・会場：米沢市すこやかセンター ・受講者数：5人

「男女共同参画の人材育成」ゲスト：山形市役所 後藤好邦氏

米沢市役所 相田隆行氏

講義及びふりかえり：廣瀬隆人氏（一般社団法人 とちぎ市民協働研究会代表理事）

ファシリテーター：チェリア塾ネットワーク置賜所属 五十嵐由美子氏、

井上恭子氏、吉原ゆみ子氏

・第4回 令和6年8月31日（土）・会場：米沢市アクティー米沢 ・受講者数：4人

「女性の健康とスポーツ」～トップアスリートから聴く「生理」との付き合い方～

講義及びふりかえり：廣瀬隆人氏（一般社団法人 とちぎ市民協働研究会代表理事）

ファシリテーター：チェリア塾ネットワーク置賜所属 五十嵐由美子氏、

井上恭子氏、吉原ゆみ子氏

・第5回 令和6年12月7日（土）・会場：米沢市すこやかセンター ・受講者数：5人

ランチミーティング交流会 ゲスト：庄内ウィメンズパーク尾形美枝氏、菅原真実氏

「置賜の女性像・家族像」ゲスト：洞松寺住職 小野卓也氏

講義及びふりかえり：廣瀬隆人氏（一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事）

ファシリテーター：チェリア塾ネットワーク置賜所属 五十嵐由美子氏、

吉原ゆみ子氏

c 専門コース

チェリア塾修了生及び山形県男女共同参画推進員を対象に、出前講座等の講師としての実践活用を図るための技法の習得を目的として開催。

・第1回 令和6年11月30日（土）・会場：遊学館 受講者数：6人

テーマ：男女共同参画ワークショップ技法の習得（実践編）

講師：有川富二子氏（チェリア塾1期生・県男女共同参画推進員）
石澤多貴子氏（チェリア塾3期生・県男女共同参画推進員）
沼野慈氏（チェリア塾18期生 県男女共同参画推進員）
石澤治雄氏（県男女共同参画推進員）

- ・第2回 令和6年12月21日(土)・会場：遊学館 受講者数：7人
テーマ：男女共同参画ワークショップ技法の習得（ワークショップの実践）

講師：齋藤由美子氏（東北文教大学非常勤講師）
有川富二子氏（チェリア塾1期生・県男女共同参画推進員）
石澤多貴子氏（チェリア塾3期生・県男女共同参画推進員）
沼野慈氏（チェリア塾18期生 県男女共同参画推進員）
村山恵美子氏（チェリア塾1期生・県男女共同参画推進員）

- ・第3回 令和7年1月18日(土)・会場：遊学館 受講者数：7人
テーマ：男女共同参画ワークショップ技法の習得（ワークショップの実践）

講師：有川富二子氏（チェリア塾1期生・県男女共同参画推進員）
石澤多貴子氏（チェリア塾3期生・県男女共同参画推進員）
沼野慈氏（チェリア塾18期生 県男女共同参画推進員）
村山恵美子氏（チェリア塾1期生・県男女共同参画推進員）

イ 「チェリア塾ネットワーク会議」の開催 参加者数12名（会場5人 オンライン7人）

開催日：令和6年8月3日(土) 場所：遊学館

内 容：令和6年度のネットワーク関連活動等について意見交換

ウ 「やまがた女性キャリアアップセミナー」の開催

企業で働く女性を対象に、職場で活躍するために
キャリア開発に必要なビジネススキルを学ぶ講座の開催。

- ・第1回 令和6年10月10日(木)
講師：安達隆司氏（ヒューマンアプローチ研究会 代表幹事）
会場：三川町公民館 受講者数：22人
- ・第2回 令和6年11月14日(木)
講師：安達隆司氏（ヒューマンアプローチ研究会 代表幹事）
会場：遊学館 受講者数：37人

エ 「やまがた緑塾」

ジェンダーに関する様々な事項に関心を持ち、正しい知識を習得し、社会現象の要因にジェンダーが関わっていないかを検討する力を養うと共に、身近な問題を解決する力を養う講座。年間2回の開催で、参加は男女を問わない。

- ・第1回 令和6年8月3日(土) 会場：遊学館 学習室
「学校のダイバーシティ・エクイティ&
インクルージョン～ジェンダー平等の視点で～」
講師：柿崎悦子氏（山形大学ダイバーシティ推進室 副室長）
受講者数：34人(会場11人 オンライン23人)
- ・第2回 令和6年9月7日(土) 会場：遊学館 学習室
「ダイバーシティ経営～女性も男性も誰もがいきいきと働き・生活するために～」

講師：伊藤真知子氏（山形県男女共同参画センター館長）

受講者数：15 名（会場 9 人 オンライン 6 人）

② 男性の意識啓発事業

ア 男性セミナーの開催

男性の男女共同参画に関する意識啓発のためのセミナーを開催した。

・第 1 回 令和 7 年 1 月 18 日（土） 村山地域

「ちがいがわかる男のコーヒー講座 vol. 8」

I 部 講話「これであなたもコーヒー名人！」

II 部 講座「家族や仲間とおいしいコーヒーを楽しもう！」

会場：尾花沢市共同福祉施設 視聴覚室 受講者数：14 人

講師：I 部 赤塚宏之氏（株式会社東北萬国社コーヒーインストラクター）

II 部 五十嵐優子氏（チェリア塾ネットワーク村山会員）

石澤治雄氏（山形県男女参画推進員）

（4）男女共同参画に関する相談・支援

① 相談事業

ア 相談業務

（単位：件）

種 類	6 年度	5 年度	4 年度
一般相談	883	893	1,098
うち男性相談	64	63	77
法律相談	41	41	50
こころの相談	105	119	111
計	1,029	1,053	1,259

イ 相談機関実務者研修会の開催【対象者：市町村等相談所関係職員】

a 相談機関初任者研修会

テーマ：「相談対応の基礎と支援について」

開催日：令和 6 年 5 月 30 日（木）

会場：遊学館 受講者数 40 人

講 師：伊藤洋子氏（山形県公認心理師・臨床心理士協会 会長）

b 相談機関実務者研修会

テーマ：「支援者を支援すること～相談員のメンタルヘルスケアについて～」

開催日：令和 6 年 10 月 3 日（木）

zoom によるオンライン配信

受講者数 66 人

講 師：森岡 由起子氏

（聖学院大学心理福祉学部客員教授 大正大学名誉教授）